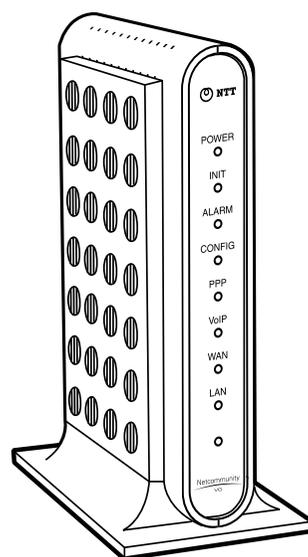


Netcommunity VG430/830 取扱説明書

このたびは、Netcommunity VG430/830
をお買い求めいただきまして、まことにあり
がとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく
お読みのうえ、内容を理解してからお使い
ください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなど
いつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ パスワードの取り扱いについて

本商品の設定画面で入力していただくユーザー用パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に見ていただくことをお勧めします。

- ・ NTT東日本のホームページ： <http://web116.jp/ced/>
- ・ NTT西日本のホームページ： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ご使用にあたってのお願い

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のLINEポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。本商品に登録または保持された情報の消去は、当社のサービス取扱所までご連絡ください（有料）。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品および本商品に搭載されているソフトウェアについて改変、複製、販売、譲渡を禁止します。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

Windows、Windows Vista は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise およびWindows® 7 Ultimate の略です。

Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business およびWindows Vista® Ultimate の略です。

Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■本商品の設置場所について

警告

- 本商品、電源アダプタ、LAN / 回線ケーブル、LAN / 回線ケーブルのコネクタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源アダプタ、LAN / 回線ケーブル、LAN / 回線ケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタ、LAN / 回線ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。また、指定された設置方法以外では設置しないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・テーブルクロスなどをかける。
 - ・本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。
 - ・紙、本などをのせたり、立てかけたりする。

お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大ききときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

■本商品のお取り扱いについて

警告

- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁のコンセントに他の電気製品の電源プラグなどを差し込む場合は、合計の電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。
なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品から異常音が出たり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、LAN／回線ケーブルのコネクタに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、LAN／回線ケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LAN／回線ケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品や電源アダプタ、LAN／回線ケーブル、LAN／回線ケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、LAN／回線ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、LAN／回線ケーブルなど外部の接続線をすべて抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタ、LAN／回線ケーブルなどが接続されたまま移動すると、電源コードや電源アダプタコード、LAN／回線ケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。医療事故や、社会的に大きな混乱が発生する原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります（電源プラグをコンセントから抜くと、IP電話サービスはご利用いただけません）。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 本書の接続方法に従って、LAN / 回線ケーブルの接続や回線の接続を行ってください。間違った接続をすると、接続機器や回線設備の故障の原因となることがあります。
- 本商品のスタンド底面はゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください（電源プラグをコンセントから抜くと、IP電話サービスはご利用いただけません）。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを壁に取り付けるときは、本商品や電源アダプタの重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、LAN / 回線ケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本商品の電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経ったあと、電源の再投入をしてください。5秒以内に電源の再投入をすると、故障の原因となることがあります。
- 本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。
- 本商品をご使用中、本体や電源アダプタをさわると温かく感じるがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。
- 本商品に水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴が付いたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本商品の動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。本商品の動作中は、接続コード類には絶対に触れないでください。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	8
この取扱説明書の見かた	10

1 お使いになる前に

本商品でできること	1-2
特長	1-3
セットを確認してください	1-4
各部の名前	1-5
本商品を設置する	1-10
縦置きするには	1-10
横置きするには	1-10
壁に取り付けるには	1-11
電源アダプタを壁に取り付けるには	1-12
本商品を接続する	1-13
フレッツ 光ネクストまたはBフレッツに接続する場合	1-13
フレッツ・光プレミアムに接続する場合	1-14

2 IP電話サービスを利用する

電話をかけるには（発信）	2-2
電話をかける（発信）	2-2
電話を受けるには（着信）	2-3
電話を受ける（着信）	2-3
IP電話サービスを便利に利用するには	2-4
同時に複数の通話および複数の電話番号を利用する	2-4
IP端末収容が可能	2-5
ナンバー・ディスプレイ	2-6
その他のサービス	2-7

3 本商品の設定

本商品の設定について	3-2
お客様で登録、変更可能な設定	3-2
設定の流れ	3-3
パソコンの設定（Windows® 7の場合）	3-4
インターネットプロパティの設定	3-4
ネットワークの設定	3-6
ネットワークの設定を確認する	3-10
パソコンの設定（Windows Vista® の場合）	3-11
インターネットプロパティの設定	3-11
ネットワークの設定	3-13
ネットワークの設定を確認する	3-17

パソコンの設定 (Windows® XP の場合)	3-18
インターネットプロパティの設定	3-18
ネットワークの設定	3-20
ネットワークの設定を確認する	3-24
パソコンの設定 (Windows® 2000 の場合)	3-25
インターネットプロパティの設定	3-25
ネットワークの設定	3-27
ネットワークの設定を確認する	3-30
Web ブラウザの設定	3-31
本商品の設定を行うには	3-33
メディア変更設定を変更する	3-34
日付と時刻を設定する	3-35
パスワードを変更する	3-36
再起動する	3-37

4 バージョンアップする

本商品のファームウェアを更新するには	4-2
自動ファームウェア更新の設定をする	4-3
Webブラウザから手動で更新する	4-5
ローカルでファームウェアを更新する	4-6
電話機から手動で確認／更新（再起動）する	4-7
最新ファームウェアの確認	4-7
最新ファームウェアの更新（再起動）	4-7

5 リモートマネジメントを利用する

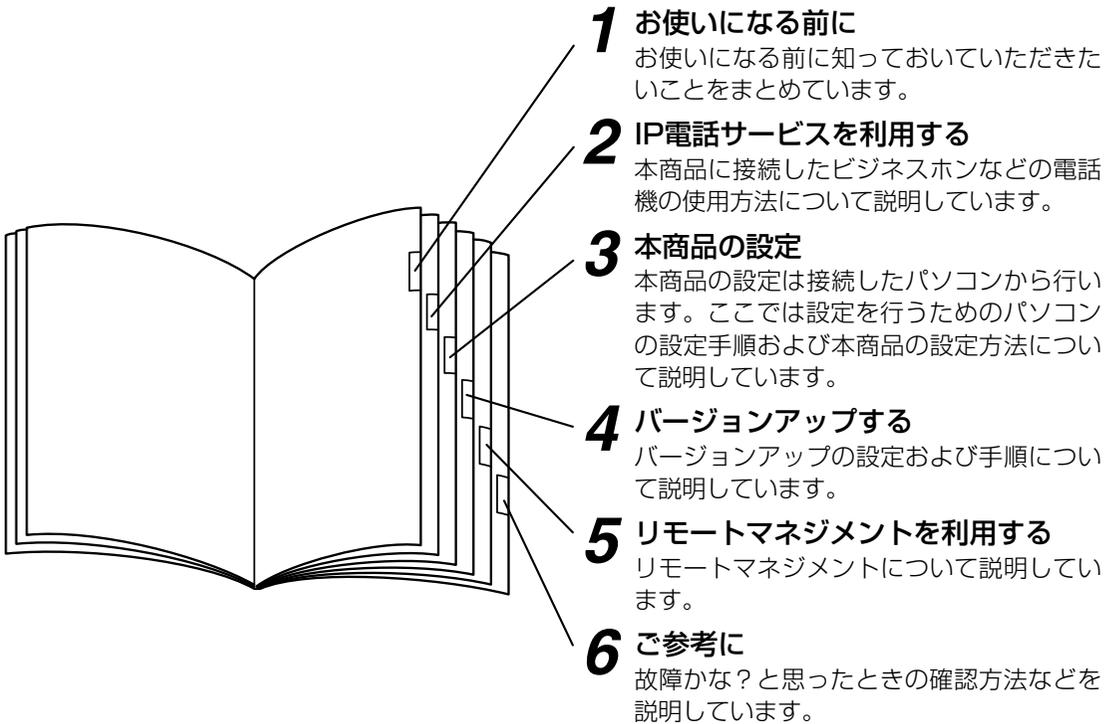
リモートマネジメントを利用するには	5-2
Webブラウザから接続する	5-3
サービスを開始する場合	5-3
サービスを停止する場合	5-3
電話機から接続する	5-4
サービスを開始する場合	5-4
サービスを停止する場合	5-4

6 ご参考に

故障かな？と思ったら	6-2
ユーザ設定記入シート	6-3
索引	6-4
仕様	6-5
保守サービスのご案内	6-6

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

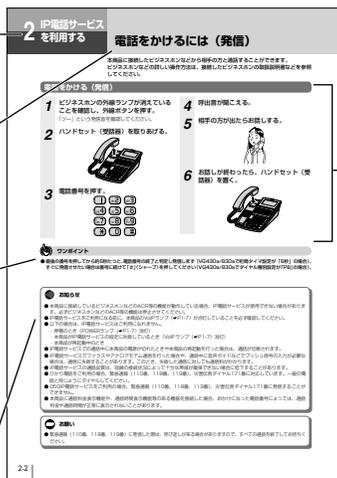
ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ<お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



操作手順説明
順番に操作を説明しています。

●この取扱説明書では、本商品のイラストはVG830aを例として記載しています。

本商品でできること	1-2
特長	1-3
セットを確認してください	1-4
各部の名前	1-5
本商品を設置する	1-10
本商品を接続する	1-13

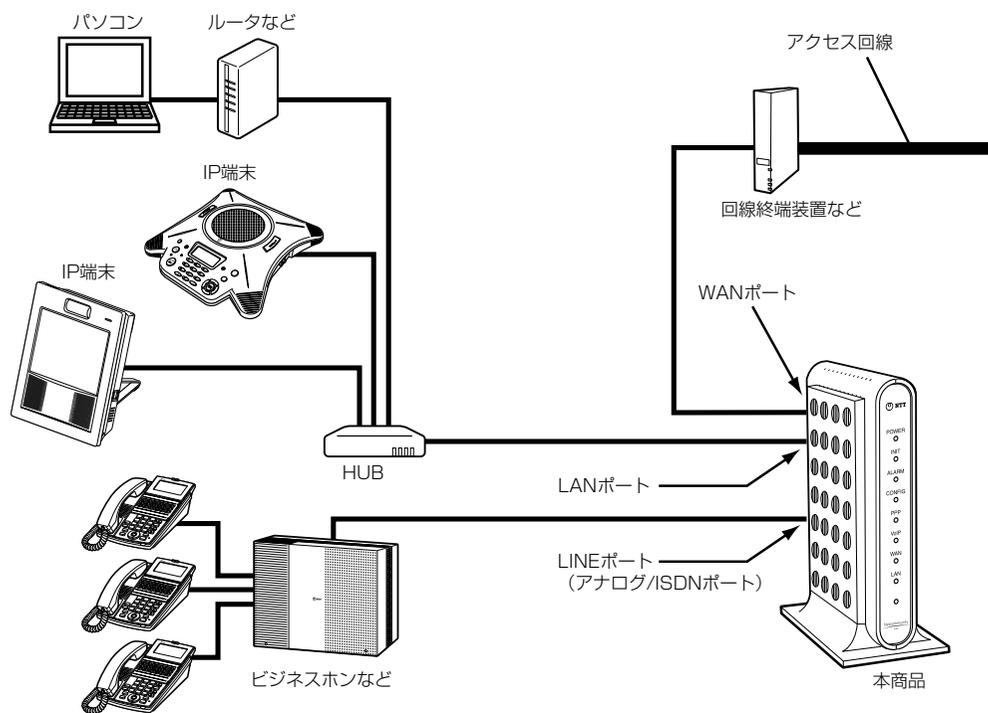
本商品でできること

本商品はIP電話サービス対応機器です。

既設のビジネスホンなどのアナログまたはISDN回線収容の機器と接続することで、IP電話サービスの利用を可能にするゲートウェイ装置です。

1台で同時に最大4チャンネル(VG430)または8チャンネル(VG830)の通話が可能です。さらに、ひかり電話オフィスタ입(フレッツ 光ネクスト)またはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合、本商品のLANポート下部に最大2台までのIP端末を収容することが可能です。

構成例



LAN側からのPPPoEパケットをWAN側に転送する機能により、本商品のLANポートに接続したルータを経由してプロバイダに接続することができます。

お知らせ

- 本商品はルータ機能を搭載していないため、インターネットに接続する場合はLANポートに接続したルータまたはパソコンからPPPoE接続する必要があります。
- インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

最大8チャンネルの同時通話が可能

最大8チャンネルの同時通話ができます（VG830ご利用時）。

固定電話相当の音声品質

ひかり電話をご利用の場合、音声パケットを優先して扱うので、固定電話相当の音声品質を実現します。

ナンバー・ディスプレイに対応

ナンバー・ディスプレイ対応ビジネスホンなどを利用することで、電話をかけてきた相手の方の電話番号などを表示させることができます。
※ご利用には、別途ご契約が必要です。

モデムダイヤルイン、i・ナンバー対応機器が利用可能

モデムダイヤルイン、i・ナンバーなどに対応していますので、各種ネットワークサービスに対応したビジネスホンなどをそのままお使いになれます。

ギガビット Ethernet 対応

本商品の LAN/WAN インタフェースがギガビット Ethernet に対応しており、PPPoE/IPv6 ブリッジのスループットは最大 1Gbps を提供可能です。

リモートマネジメントに対応

遠隔で本商品の設定等を行うことが可能です。
※ご利用には、別途ご契約が必要です。

STOP お願い

- 緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

警告

- お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。

お知らせ

- 050IP電話サービスをご利用の場合、緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番に発信することができません。
- 本商品は、新しいファームウェアを毎日定期的に確認し、新しいファームウェアがある場合、自動的にダウンロードしバージョンアップする機能があります。
- [自動ファームウェア更新]（●P4-3）を「有効」（お買い求め時の設定）に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動します。
ただし、重要なファームウェアについては、[自動ファームウェア更新]（●P4-3）や[自動ファームウェア更新開始日]（●P4-3）の設定に関わらず、[自動更新時刻]（●P4-3）に設定した時刻から1時間以内にファームウェアの更新が行われます。更新完了時に通話中の場合は、通話が終わったあと約6分後に再起動します。

IP 電話サービスに対応

ひかり電話網、050IP 電話網を利用して、本商品に接続したビジネスホン等からひかり電話または050IP 電話を利用することが出来ます。
※本書記載の「050IP 電話」とは、050 番号を利用する IP 電話サービスのことです。

緊急通報も可能

ひかり電話をご利用の場合、緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル 171 番のご利用が可能です。

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップ

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップします。

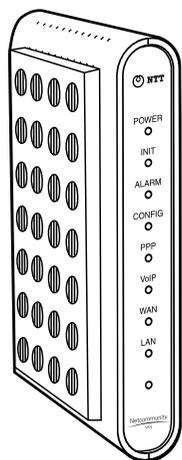
IP 端末収容が可能

ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィスA（エース）をご利用の場合、本商品の LAN ポート下部に IP 端末を収容することで、映像通話、IP 電話会議等が可能です。また、高音質音声での通話が可能です。（IP 端末同士の通話の場合）

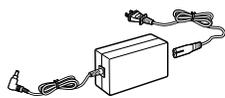
1 お使いになる 前に

セットを確認してください

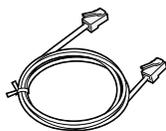
■本体



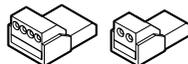
■付属品



電源アダプタ (1組)



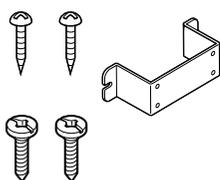
LANケーブル
(ストレート1本: 約1.5 m)



クイックコネクタ※



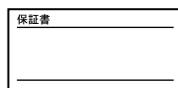
専用スタンド (1組)



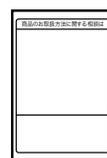
壁掛け用品
(1式)



取扱説明書 (1部)



保証書 (1枚)



NTT通信機器
お取扱相談センタ
シール (1枚)

※クイックコネクタは、製品によって形状と個数が異なります。

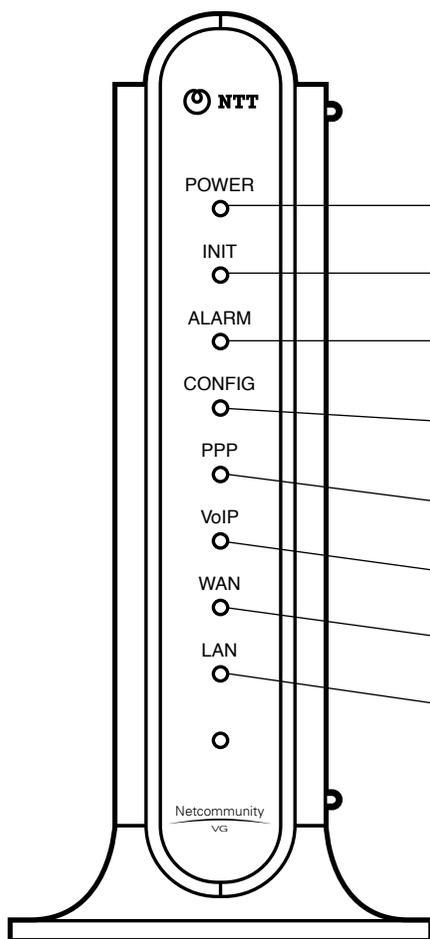
- ・ VG430a : 2 芯、4 個
- ・ VG830a : 2 芯、8 個
- ・ VG430i : 4 芯、3 個
- ・ VG830i : 4 芯、5 個

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 付属品の形状は一例です。

各部の名前

■前面

- VG430a (アナログインタフェース (4チャンネル))
- VG830a (アナログインタフェース (8チャンネル))



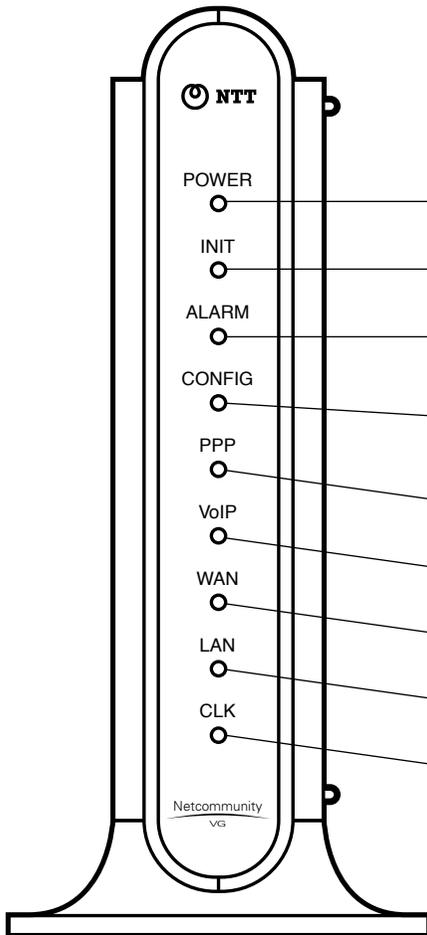
【ランプ表示】

	名称	説明
①	POWERランプ	電源状態表示
②	INITランプ	初期状態表示またはメモリアクセス状態表示
③	ALARMランプ	動作状態表示
④	CONFIGランプ	ひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話オフィスA(エース)設定状態表示
⑤	PPPランプ	PPP接続状態表示
⑥	VoIPランプ	IP電話サービス利用状態表示
⑦	WANランプ	WAN回線接続状態表示
⑧	LANランプ	LAN回線接続状態表示

*各ランプの詳細説明は、ランプ説明 (P1-7)。

各部の名前

- VG430i (ISDNインタフェース (4チャンネル))
- VG830i (ISDNインタフェース (8チャンネル))



【ランプ表示】

	名称	説明
①	POWERランプ	電源状態表示
②	INITランプ	初期状態表示または メモリアクセス状態表示
③	ALARMランプ	動作状態表示
④	CONFIGランプ	ひかり電話オフィスタイプまたは ひかり電話オフィスA(エース) 設定状態表示
⑤	PPPランプ	PPP接続状態表示
⑥	VoIPランプ	IP電話サービス利用状態表示
⑦	WANランプ	WAN回線接続状態表示
⑧	LANランプ	LAN回線接続状態表示
⑨	CLKランプ	外部同期状態表示

*各ランプの詳細説明は、ランプ説明 (●P1-7)。

【ランプ説明】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
①POWERランプ	点灯(緑)	電源が入っているとき
	消灯	電源が切れているとき
②INITランプ	消灯	通常の状態
	点灯(赤)	初期状態(お買い求め時の状態)
	点滅(赤)	メモリにデータを書き込み中
③ALARMランプ	消灯	正常な状態
	点灯(赤)	本商品が故障しているとき、または本商品が起動中のとき
	点滅(赤)	
④CONFIGランプ(※)	消灯	ひかり電話ビジネスタイプ、OCN.Phone OfficeまたはXePhionコールPro+(プラス)が設定されているとき
	点灯(緑)	設定が完了しているとき
	点滅(緑)	設定中
	点灯(赤)	設定が失敗したとき(認証エラー)
	点滅(赤)	設定が失敗したとき(その他のエラー)
⑤PPPランプ	消灯	オフラインのとき
	点滅(緑)	接続トライ中
	点灯(緑)	接続中
⑥VoIPランプ	消灯	IP電話サービスが利用できないとき
	点灯(緑)	IP電話サービスが利用可能なとき
	点滅(緑)	IP電話サービス使用中(通話中、着信中、呼出中)
⑦WANランプ	消灯	回線終端装置などに接続していないとき
	点灯(緑)	回線終端装置などに接続しているとき
	点滅(緑)	回線終端装置などとデータ通信中
⑧LANランプ	消灯	LANポートにルータ、パソコンなどを接続していないとき
	点灯(緑)	LANポートにルータ、パソコンなどを接続しているとき
	点滅(緑)	LANポートに接続したルータ、パソコンなどとデータ通信中
⑨CLKランプ (VG430i/830iのみ)	消灯	CLKポートを使用していないとき
	点灯(緑)	CLKポートを使用しているとき

※ ひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合に動作します。



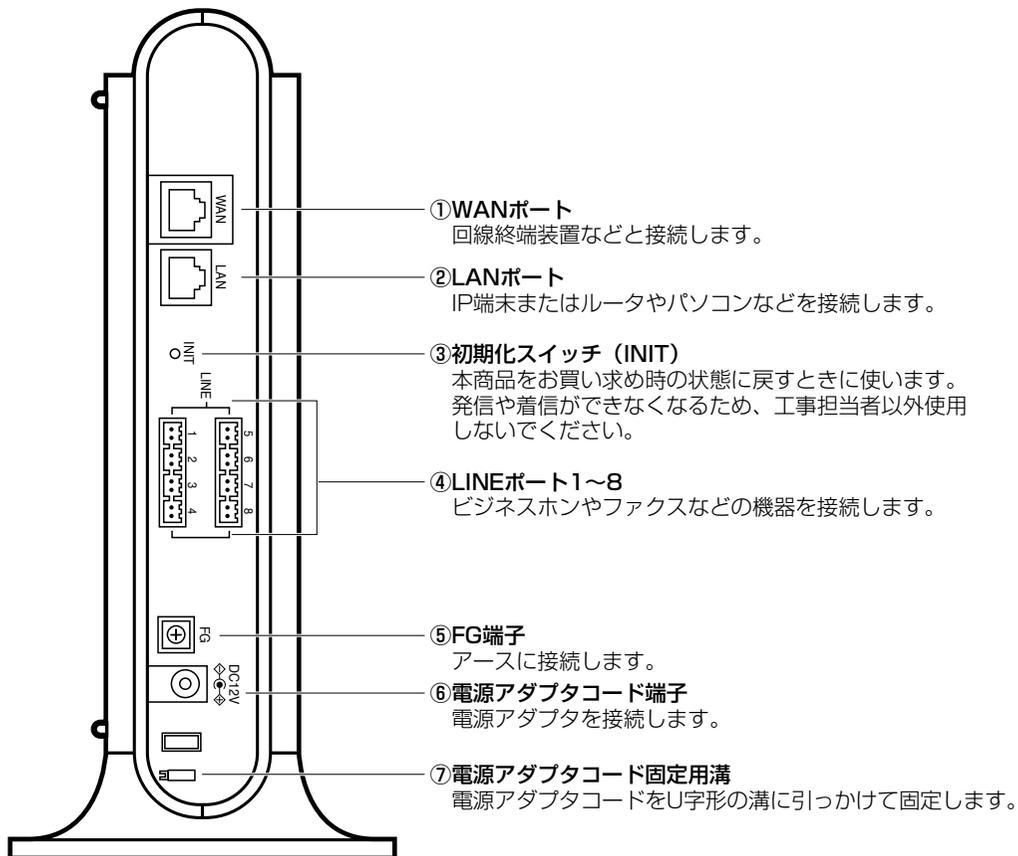
お知らせ

- ひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話オフィスA(エース)以外のIP電話サービスをご利用の場合、CONFIGランプは常に消灯となります。

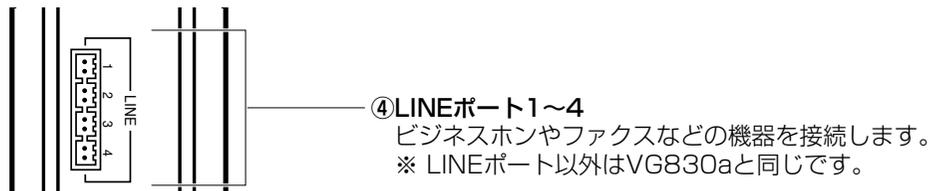
各部の名前

■背面

●VG830a (アナログインタフェース (8チャンネル))



●VG430a (アナログインタフェース (4チャンネル))



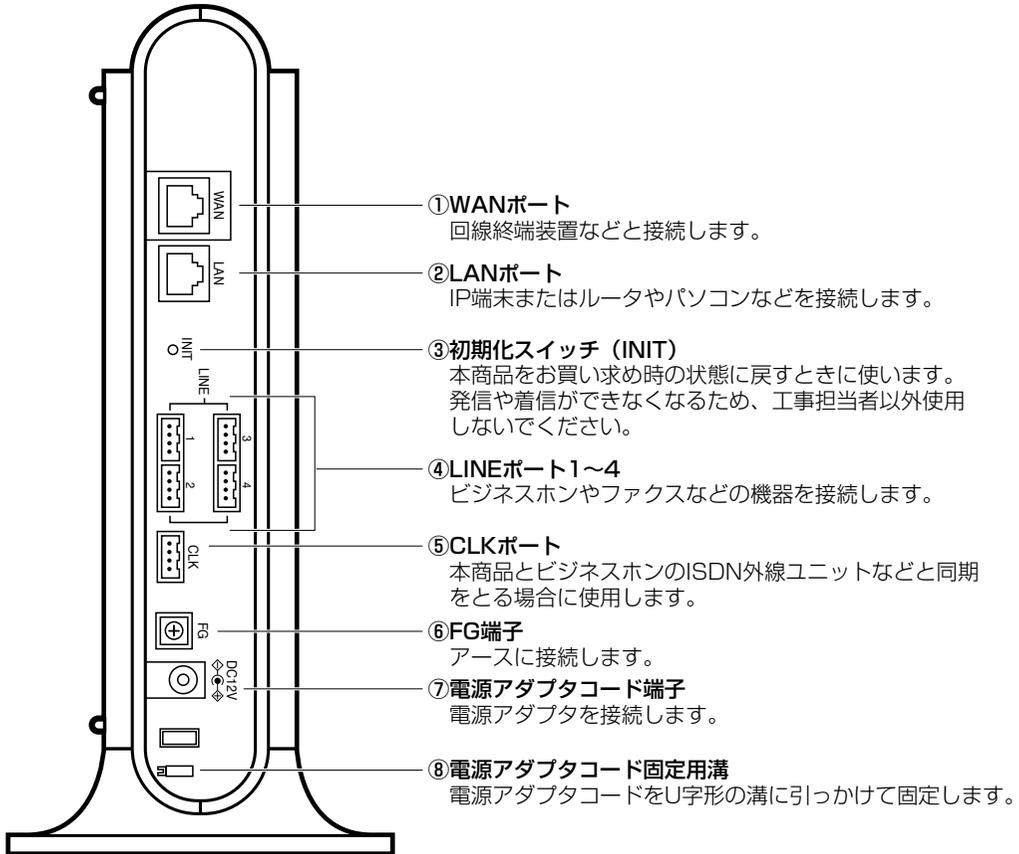
ワンポイント

- 本商品をお買い求め時の状態に戻すには
工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください (有料)。

お知らせ

- IP端末、ルータおよびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。

●VG830i (ISDNインタフェース (8チャンネル))



●VG430i (ISDNインタフェース (4チャンネル))



ワンポイント

- 本商品をお買い求め時の状態に戻すには
工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください (有料)。



お知らせ

- IP端末、ルータおよびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。

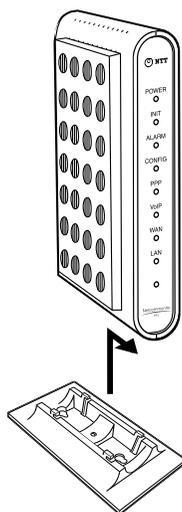
1 お使いになる 前に

本商品を設置する

本商品はスタンドを取り付けて縦置きで設置するほか、横置きにしたり、壁に取り付けることができます。どの設置方法でも必ず専用スタンドを使用の上設置します。

縦置きするには

付属品の専用スタンドを使用して、本商品を縦置きすることができます。

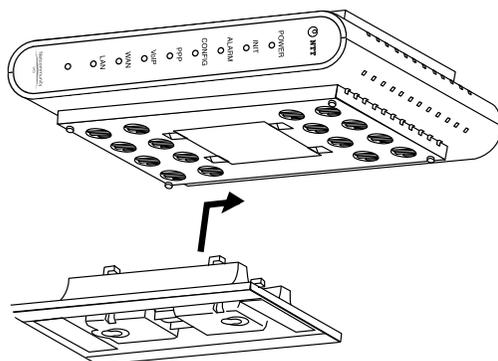


⚠ 注意

本商品の周辺には、パソコンや壁などのものがないように設置してください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

横置きするには

付属品の専用スタンドを使用して、本商品を横置きすることができます。



⚠ 注意

横置き時にも必ず専用スタンドを使用してください。本商品の上部には、なにも置かないでください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

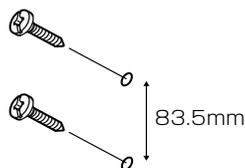
壁に取り付けるには

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ19mm）2本を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 2本の壁掛け用ネジの取り付け位置（上下幅83.5mm）を決める。

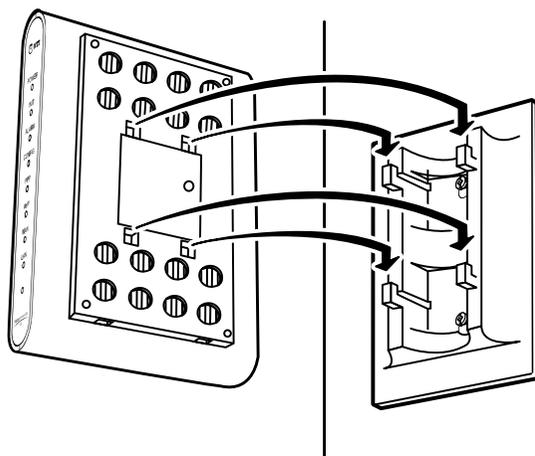
壁掛け用ネジを壁に取り付ける際は、ページ下に記載の矢印の間隔にネジを取り付けてください。

2 ネジを壁に仮締めする。



3 仮締めしたネジにスタンドの穴を引っ掛け、ネジを本締めする。

4 本商品を、壁に取り付けたスタンドに引っ掛ける。



⚠ 注意

ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けしないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

本商品を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。



1 お使いになる 前に

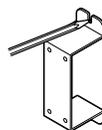
本商品を設置する

電源アダプタを壁に取り付けるには

電源アダプタを壁に取り付けて使用することができます。

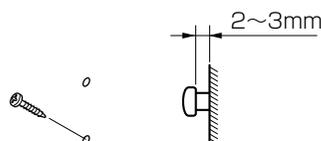
付属品の電源アダプタ取り付け用ブラケットと固定ネジ（長さ16mm）2本を使って壁や柱などに取り付けてください。

- 1** 電源アダプタ取り付け用ブラケットを取り付け位置に当て、固定ネジの取り付け位置（上下幅75mm）に印をつける。

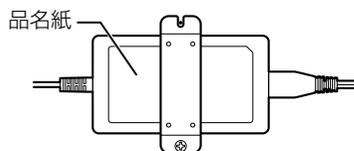


- 2** 下側の固定ネジ（長さ16mm）を壁に取り付ける。

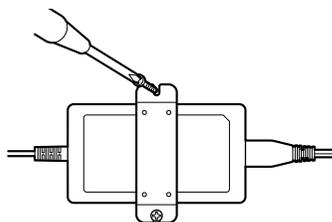
このとき、ネジの頭を壁より約2~3mm程度出した状態にしてください。



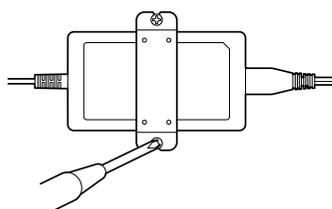
- 3** 電源アダプタの品名紙を表にして、電源アダプタ取り付け用ブラケットを電源アダプタにかぶせ、下側のU字穴を壁に取り付けたネジに引っかける。



- 4** 固定ネジ（長さ16mm）を電源アダプタ取り付け用ブラケットの上側のU字穴に差し込み、壁に取り付ける。



- 5** 電源アダプタ取り付け用ブラケットの下側の固定ネジを締める。



注意

- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に電源アダプタを取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは水平に取り付けてください。垂直に取り付けた場合、コードを引いたときに電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは動かないようにしっかりと固定してください。電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。

お願い

- 電源アダプタは品名紙が表になるように取り付けてください。

電源アダプタを壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。



1 お使いになる前に

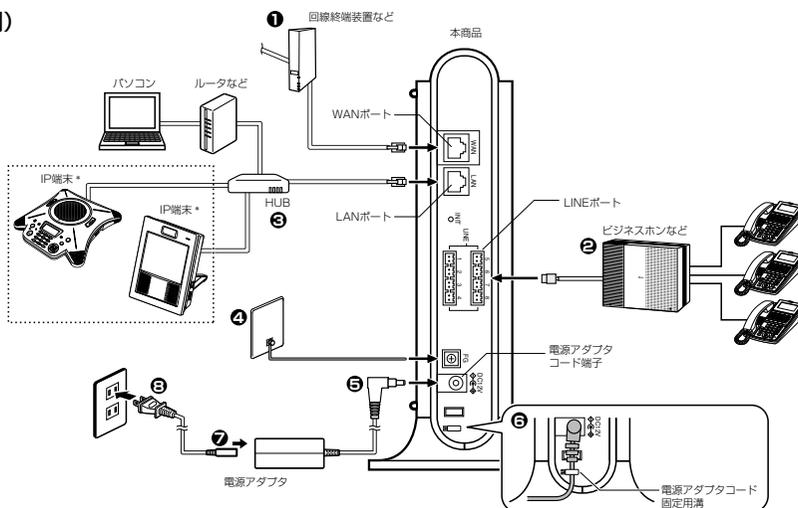
本商品を接続する

本商品と回線、ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。
本商品の接続は工事担当者が行います。

本商品は、次のような構成で接続することができます。

フレッツ 光ネクストまたはBフレッツに接続する場合

(VG830aの例)



* IP端末は、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィスA（エース）をご利用の場合のみ接続することができます。

1 本商品を回線終端装置などに接続する。

回線終端装置などと、本商品のWANポートを付属品のLANケーブルで接続します。

2 本商品をビジネスホンなどの機器に接続する。

本商品のLINEポートにビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

3 本商品とIP端末、ルータおよびパソコンなどを接続する。

本商品のLANポートとIP端末、ルータおよびパソコンなどをLANケーブルで接続します。
インターネットに接続する場合は、ルータまたはパソコンへPPPoE接続の設定を行います。

4 アース線をFG端子に接続する。

落雷などによる人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
●アース線は、お手元の環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

5 電源アダプタのDCプラグを、本商品の電源アダプタコード端子に接続する。

6 電源アダプタコード固定用溝へコードを引っかけて固定する。

7 電源コードの電源アダプタ側プラグを電源アダプタに接続する。

8 電源プラグをコンセントに接続する。



お知らせ

- IP端末、ルータおよびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィスA（エース）をご利用の場合、本商品のLANポート下部に最大2台までのIP端末を収容することが可能です。
- ご利用のIP電話サービスにより、本商品のWANポートにルータなどを接続する場合があります。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

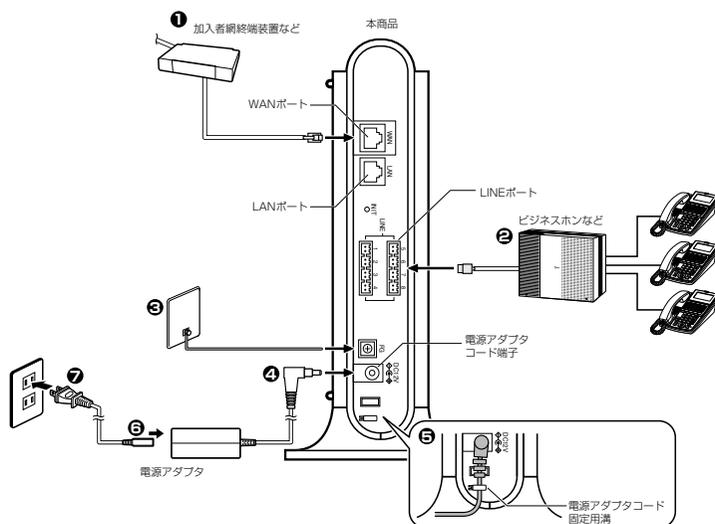
4 パーティションアップ
する

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

フレッツ・光プレミアムに接続する場合

(VG830aの例)



- 1** 本商品を加入者網終端装置などに接続する。
加入者網終端装置などと、本商品のWANポートを付属品のLANケーブルで接続します。
- 2** 本商品をビジネスホンなどの機器に接続する。
本商品のLINEポートにビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。
- 3** アース線をFG端子に接続する。
落雷などによる人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
●アース線は、お手元の環境に合った長さのものを別途お買い求めください。
- 4** 電源アダプタのDCプラグを、本商品の電源アダプタコード端子に接続する。
- 5** 電源アダプタコード固定用溝へコードを引っかけて固定する。
- 6** 電源コードの電源アダプタ側プラグを電源アダプタに接続する。
- 7** 電源プラグをコンセントに接続する。

お知らせ

- 加入者網終端装置の設定を変更した場合は、必ず本商品を再起動してください。(●P3-37、4-7)
- フレッツ・光プレミアムに接続する場合、本商品のLANポートには、本商品を設定するときのみパソコンを接続します。(●P3-3)

2 IP電話サービスを利用する

電話をかけるには（発信）……………	2-2
電話を受けるには（着信）……………	2-3
IP電話サービスを 便利に利用するには……………	2-4

電話をかけるには（発信）

本商品に接続したビジネスホンなどから相手の方と通話することができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

電話をかける（発信）

1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。



3 電話番号を押す。



4 呼出音が聞こえる。

5 相手の方が出たらお話しする。



6 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。



ワンポイント

- 最後の番号を押してから約6秒たつと、電話番号の終了と判定し発信します（VG430a/830aで桁間タイマ設定が「6秒」の場合）。すぐに発信させたい場合は番号に続けて「#」（シャープ）を押してください（VG430a/830aでダイヤル種別設定が「PB」の場合）。



お知らせ

- 本商品に接続しているビジネスホンなどのACR等の機能が動作している場合、IP電話サービスが使用できない場合があります。必ずビジネスホンなどのACR等の機能は停止させてください。
- IP電話サービスをご利用になる前に、本商品のVoIPランプ（●P1-7）が点灯していることを必ず確認してください。
- 以下の場合は、IP電話サービスはご利用になれません。
 - ・停電のとき（POWERランプ（●P1-7）消灯）
 - ・本商品がIP電話サービスの設定に失敗しているとき（VoIPランプ（●P1-7）消灯）
 - ・本商品が再起動中のとき
- IP電話サービスでの通話中に本商品の電源が切れたときや本商品の再起動を行った場合は、通話が切断されます。
- IP電話サービスでファクスやアナログモデム通信を行った場合や、通話中に音声ガイドなどでプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。このとき、失敗した通信に対しても通信料がかかります。
- IP電話サービスの通話品質は、回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合に低下することがあります。
- ひかり電話をご利用の場合、緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番に対応しています。一般の電話と同じようにダイヤルしてください。
- 050IP電話サービスをご利用の場合、緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番に発信することができません。
- 本商品に通話料金表示機能や、通話時間表示機能等のある機器を接続した場合、おかけになった電話番号によっては、通話料金や通話時間が正常に表示されないことがあります。



お願い

- 緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

- 1** 着信音が鳴り、外線ランプが点滅する。



- 2** ランプが点滅している外線ボタンを押す。

- 3** ハンドセット（受話器）を取りあげて、相手の方とお話する。



- 4** お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。



1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

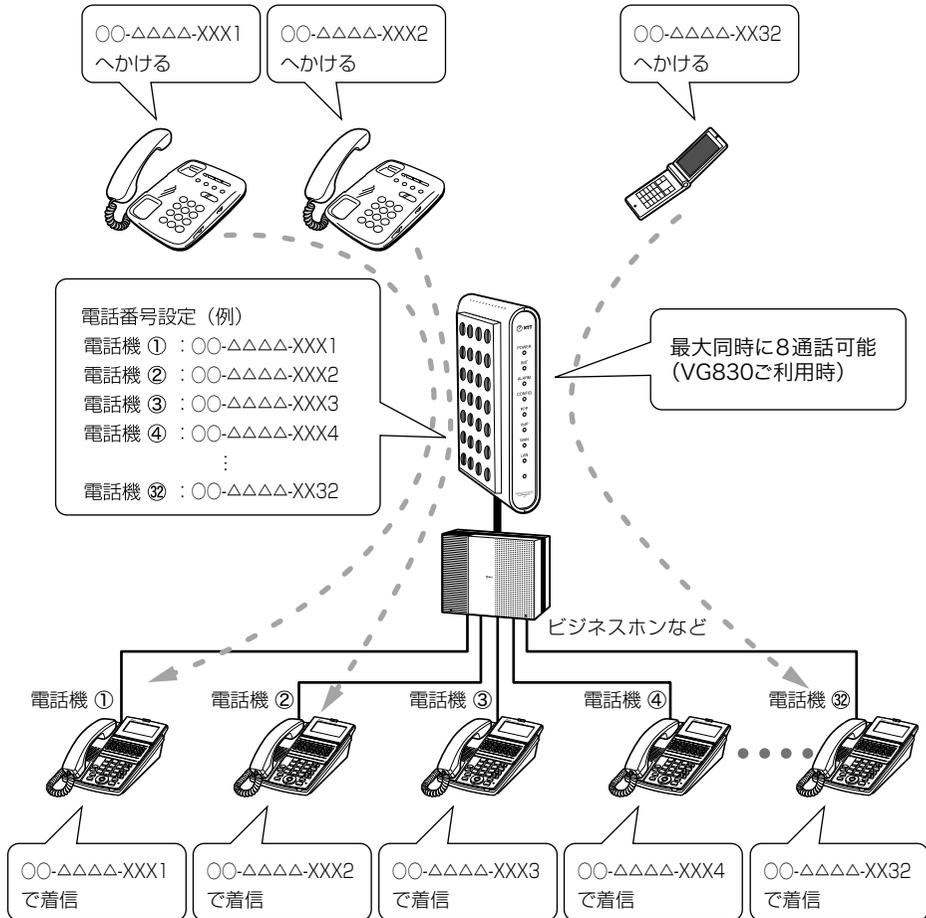
4 バージョンアップ
する

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

同時に複数の通話および複数の電話番号を利用する

契約により、本商品に接続したビジネスホンを使用して同時に4件（VG430）^{※1}、または8件（VG830）^{※1}の相手先と通話することができます。



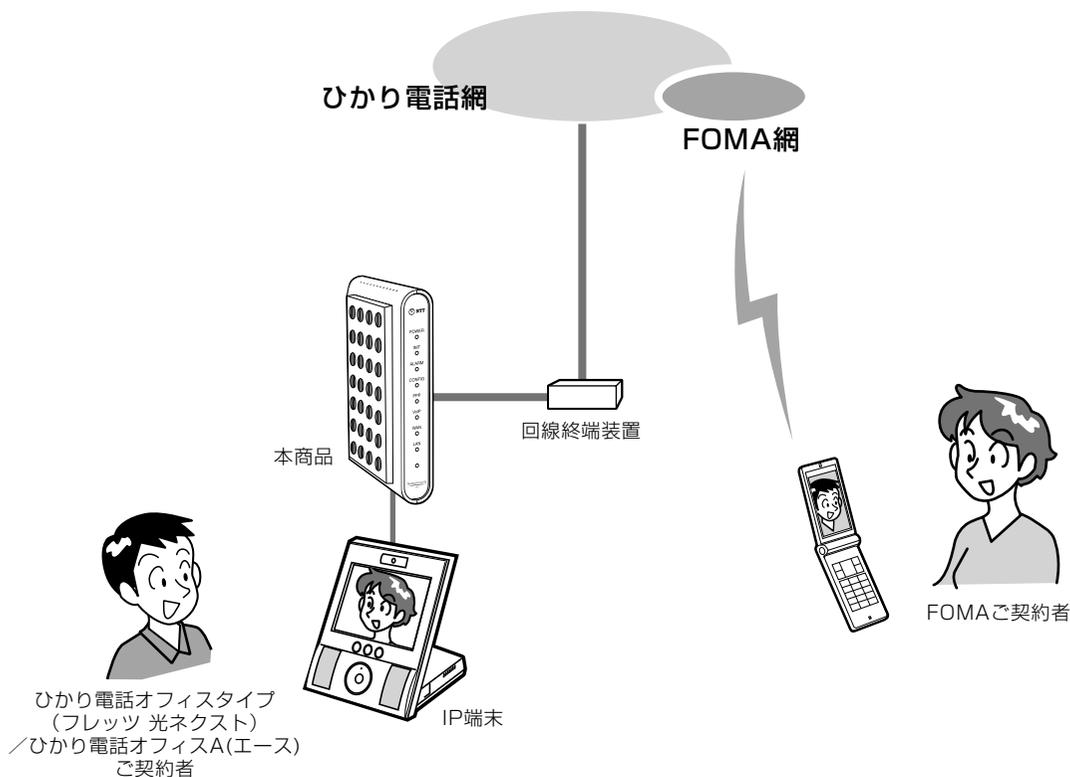
図のように、別々の相手先（外線）^{※2}と4通話（VG430）、または8通話（VG830）が同時にご利用になれます。

※1 別途、契約が必要です

※2 IP電話、加入電話、携帯電話、国際電話など

IP端末収容が可能

ひかり電話オフィスタ입 (フレッツ 光ネクスト) またはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合、本商品のLANポート下部にIP端末を収容することで、映像通話、IP電話会議等が可能です。また、高音質音声での通話が可能です。(IP端末同士の通話の場合)



ワンポイント

- LANポートに収容したIP端末の内線番号は、「10～79」の2桁となります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本商品のLINEポートに接続したビジネスホンなどと、本商品のLANポートに収容したIP端末との内線通話はできません。



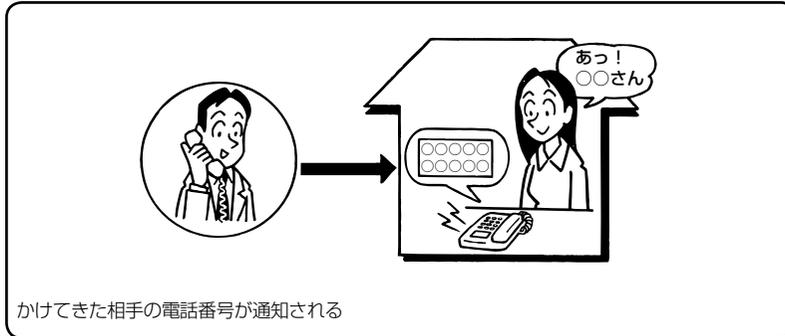
お知らせ

- IP端末は、お客様にてご用意ください。IP端末の設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- 高音質通話、映像通話、IP電話会議などは、それぞれに対応した機器が必要です。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



お知らせ

- 接続したビジネスホンなどの機器がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。
- ご利用には、別途ご契約が必要です。

その他のサービス

ひかり電話オフィスタ입またはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合、以下のサービスをご利用になることができます。

■ボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送します。外出先から転送開始などの設定もできます。

■ナンバー・リクエスト

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、「電話番号を通知してかけ直すよう」自動音声で伝えるサービスです。

■迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話を受けた直後に、お客様が登録操作を行うことにより、以降同じ電話番号からかかってきた場合には、お客様に代わって「この電話はお受けできません。ご了承ください。」と自動的にメッセージで応答するサービスです。



お知らせ

- ひかり電話ビジネスタイプ、OCN.Phone OfficeまたはXePhionコールPro+（プラス）のIP電話サービスをご利用の場合、付加サービスについては各プロバイダ等にご確認ください。
- ご利用には、別途ご契約が必要です。
- 詳しい操作方法は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

本商品の設定について	3-2
設定の流れ	3-3
パソコンの設定	
(Windows® 7の場合)	3-4
パソコンの設定	
(Windows Vista®の場合)	3-11
パソコンの設定	
(Windows® XPの場合)	3-18
パソコンの設定	
(Windows® 2000の場合)	3-25
Webブラウザの設定	3-31
本商品の設定を行うには	3-33
メディア変更設定を変更する	3-34
日付と時刻を設定する	3-35
パスワードを変更する	3-36
再起動する	3-37

本商品の設定について

本商品の設定は工事が実施しますので、お客様による設定は不要です。
番号の追加、ダイヤルイン設定の変更など、本商品の設定変更が必要な場合は当社サービス取扱所にご相談ください。
なお、一部の設定はお客様で登録、変更いただけます。

お客様で登録、変更可能な設定

■ 電話設定

メディア変更設定

■ ファームウェア更新設定

自動ファームウェア更新詳細設定

- ・ 自動ファームウェア更新
- ・ 自動更新時刻
- ・ 自動ファームウェア更新開始日

■ 保守

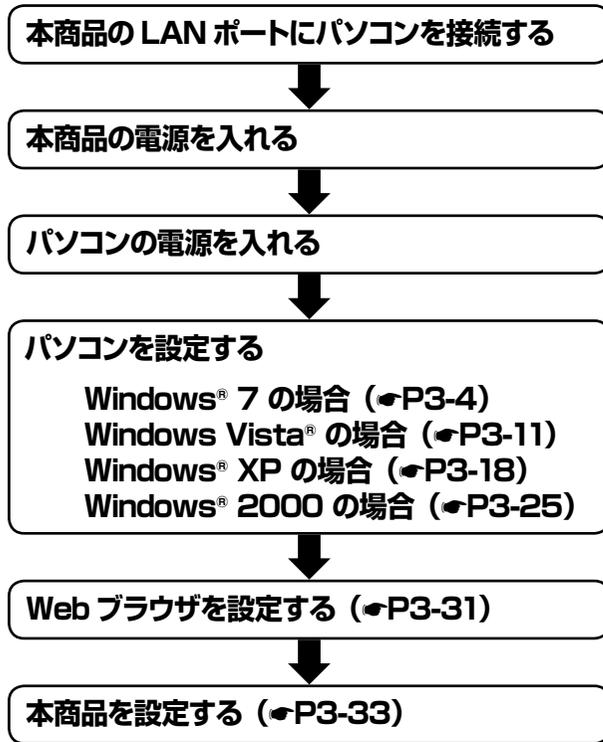
カレンダー設定

- ・ 現在日時
 - ・ 時刻自動取得
- ユーザ用パスワード設定



お知らせ

- 対応しているOSは、Windows® 2000 (SP4)、Windows® XP Home/Professional (SP3)、Windows Vista® (SP2)、Windows® 7です。
- 対応しているブラウザは、Windows® 7ではInternet Explorer8.0、Windows Vista® (SP2) ではInternet Explorer7.0、または、Internet Explorer8.0、Windows® XP Home/Professional (SP3) ではInternet Explorer6.0 (SP3)、Internet Explorer7.0、または、Internet Explorer8.0、Windows® 2000 (SP4) ではInternet Explorer6.0 (SP1) です。
- 設定画面や構成は2010年7月現在のものです。ファームウェアの更新により、設定画面や構成が変わることがあります。



1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ
する

5 リモートマネージメント
を利用する

6 ご参考に

Windows® 7の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定」に進んでください。(●P3-31)

本書ではWindows® 7の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のリモートデスクトップ接続や加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

これまでADSL接続かBフレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」(●P3-6)に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 7を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。

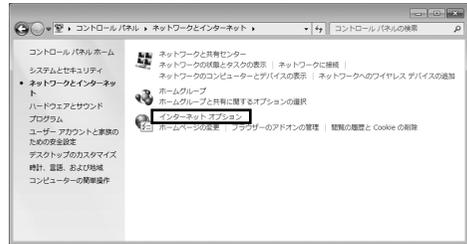


お知らせ

- Windows® 7ではスタートメニューの表示モードに「スタート」メニューとクラシック「スタート」メニューがあります。この取扱説明書の画面では「スタート」メニューを例に記述しています。
- Windows® 7ではコントロールパネルの表示モードにホームモード(カテゴリ表示モード)とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面ではホームモードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

3 「インターネットオプション」を表示する。

「インターネットオプション」をクリックします。



4 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックする。



6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する。

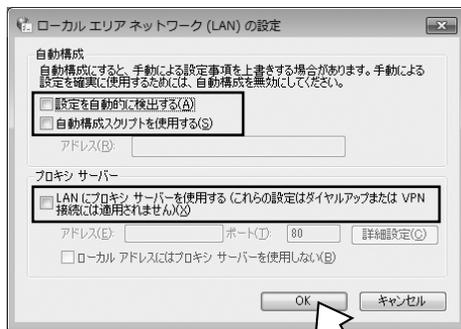
次のように設定します。

① 「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

② 「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK] をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③ 最後に「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 7を起動し、「スタート」メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



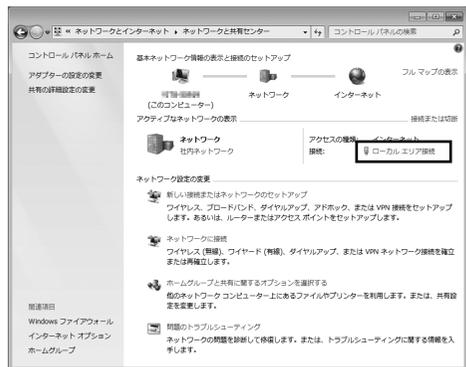
2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「ローカルエリア接続」をクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」にPPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください。



4 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。



5 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する。

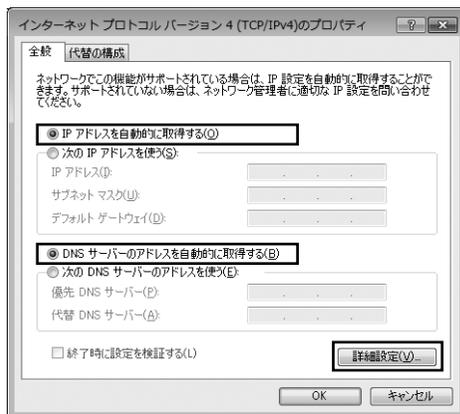
「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

6 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



7 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。

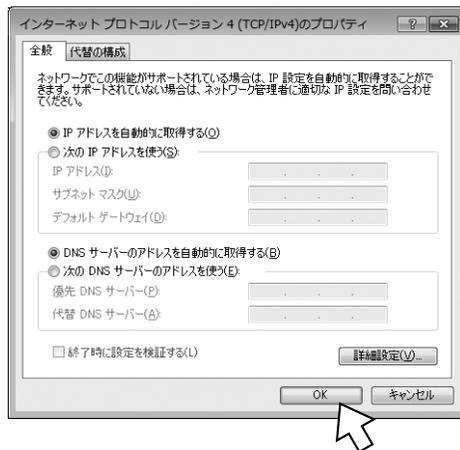
「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順6の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

8 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



9 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

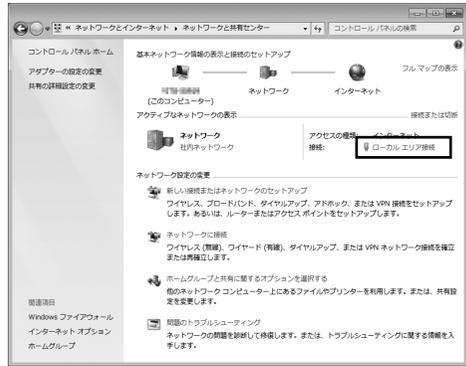
10 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン (LANカード) と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® 7では次の手順で確認します。

1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「ネットワークの設定」の手順1~3を行います。(▶P3-6~3-7)



2 「ローカルエリア接続の状態」で「詳細」をクリックする。

「詳細」をクリックします。



3 IPアドレスを確認する。

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- ・ IPv4 IPアドレス
- ・ IPv4 サブネットマスク
- ・ IPv4 デフォルトゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

4 「閉じる」をクリックする。

Windows Vista®の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定」に進んでください。(●P3-31)

本書ではWindows Vista®の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のもデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

これまでADSL接続かBフレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」(●P3-13)に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista®を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。



お知らせ

- Windows Vista®ではスタートメニューの表示モードに [スタート] メニューとクラシック [スタート] メニューがあります。この取扱説明書の画面では [スタート] メニューを例に記述しています。
- Windows Vista®ではコントロールパネルの表示モードにホームモード (カテゴリ表示モード) とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面ではホームモードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

(次ページへ続きます)

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

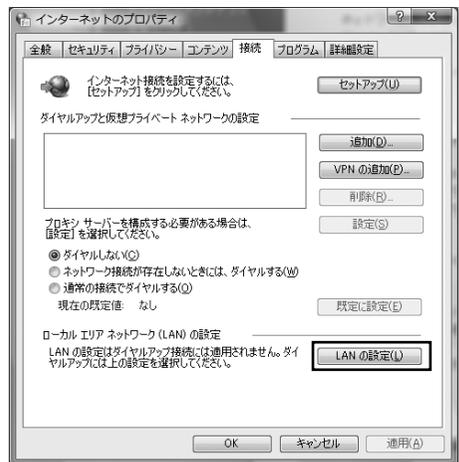
3 「インターネットオプション」を表示する。
[インターネットオプション] をクリックします。



4 [接続] タブで [ダイヤルしない] を選択する。
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
[ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする] や [通常の接続でダイヤルする] が選択されている場合は、[ダイヤルしない] をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の [LANの設定] をクリックする。



6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する。

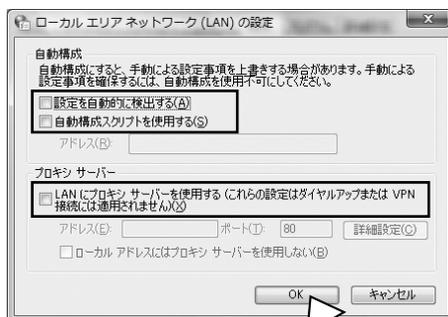
次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK] をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③最後に「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista®を起動し、「スタート」メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



(次ページへ続きます)

2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ネットワーク接続」を表示する。

「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



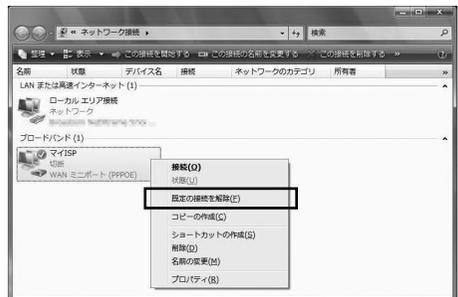
4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

[LANまたは高速インターネット]内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の「ブロードバンド」の欄に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください (例では、「マイISP」となっています)。



5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

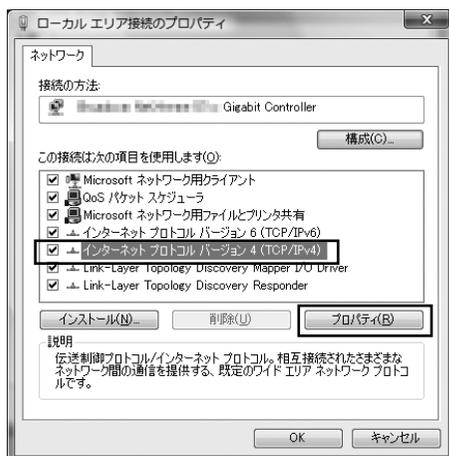
「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されるので、「続行」をクリックします。



6 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する。

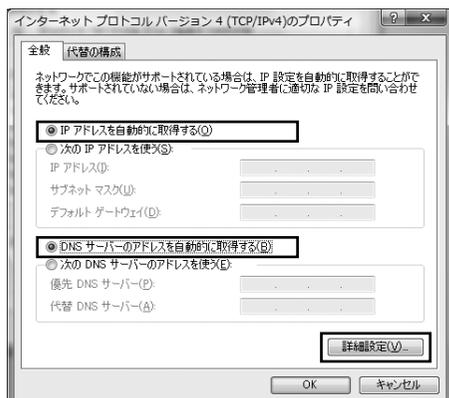
「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



※ 一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



(次ページへ続きます)

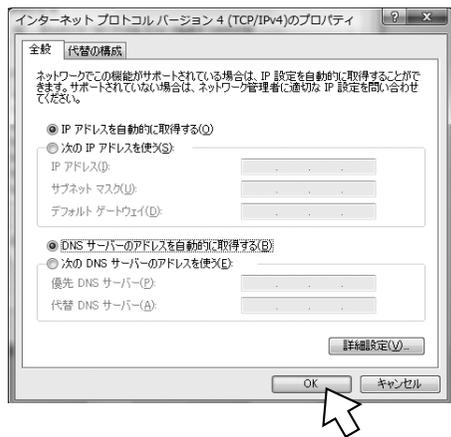
- 8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。
「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

- 9 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする。



- 10 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

- 11 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows Vista®では次の手順で確認します。

1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「ネットワークの設定」の手順1～4を行います。(●P3-13～3-14)



2 「ローカルエリア接続の状態」で「詳細」をクリックする。

「詳細」をクリックします。



3 IPアドレスを確認する。

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- ・ IPv4 IPアドレス
- ・ IPv4 サブネットマスク
- ・ IPv4 デフォルトゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

4 「閉じる」をクリックする。

パソコンの設定 (Windows® XPの場合)

Windows® XPの場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Webブラウザの設定」に進んでください。(●P3-31)

本書ではWindows® XPの通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のもデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

これまでADSL接続かBフレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」(●P3-20)に進んでください。

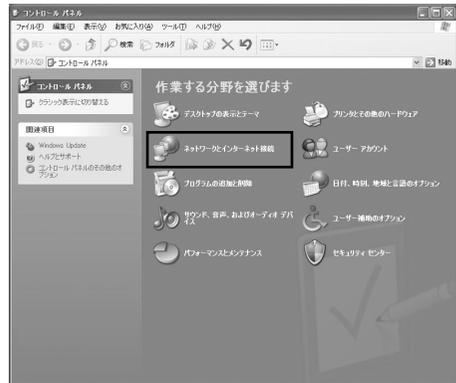
1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XPを起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

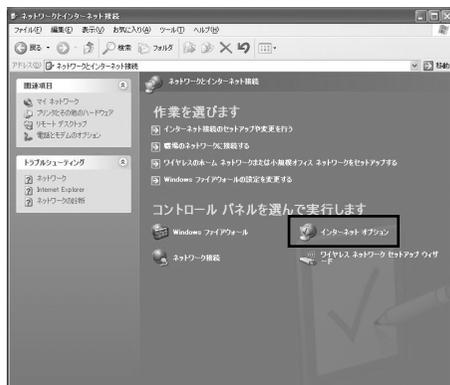


お知らせ

- Windows® XPではスタートメニューの表示モードに [スタート] メニューとクラシック [スタート] メニューがあります。この取扱説明書の画面では [スタート] メニューを例に記述しています。
- Windows® XPではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード (カテゴリ表示モード) とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面では通常表示モードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer6.0 (SP3)、Internet Explorer7.0、または、Internet Explorer8.0がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

3 「インターネットオプション」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の「インターネットオプション」をクリックします。

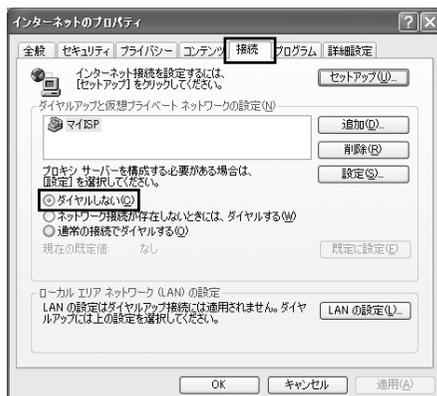


4 [接続] タブで [ダイヤルしない] を選択する。

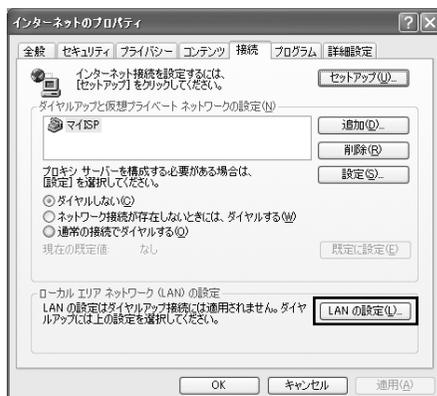
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。

「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の [LANの設定] をクリックする。



(次ページへ続きます)

6 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する。

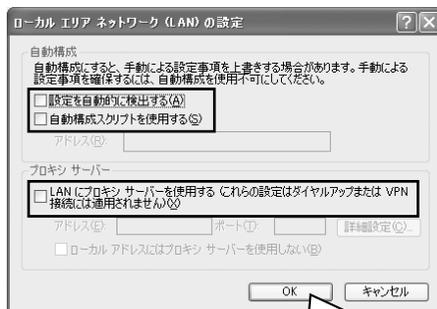
次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK] をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

- ③最後に「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行ってください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XPを起動し、「スタート」メニューから [コントロールパネル] をクリックします。



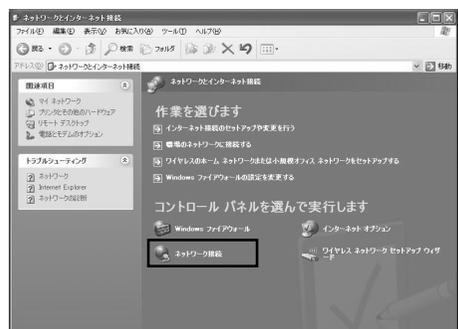
2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3 「ネットワーク接続」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。



4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「LANまたは高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください(例では、「マイISP」となっています)。



(次ページへ続きます)

5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。
「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。

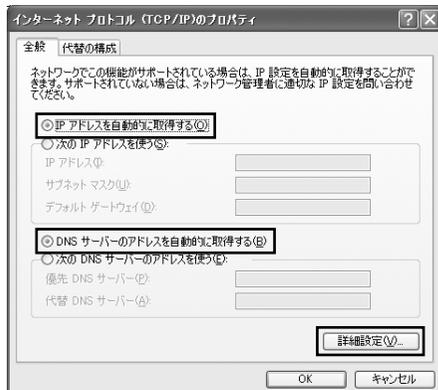


6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を表示する。
「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



※ 一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する。
「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。
IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。

「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

9 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の [OK] をクリックする。



10 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

11 「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® XPでは次の手順で確認します。

- 1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。
「ネットワークの設定」の手順1~4を行います。(●P3-20~3-21)



- 2 [サポート] タブで「接続状態」を確認する。
「ローカルエリア接続の状態」の [サポート] タブをクリックします。



- 3 IPアドレスを確認する。
以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。
 - ・ IPアドレス
 - ・ サブネットマスク
 - ・ デフォルトゲートウェイ
 これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、[修復] をクリックしてください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- [修復] をクリックしても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

- 4 [閉じる] をクリックする。

パソコンの設定 (Windows® 2000の場合)

Windows® 2000の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。(●P3-31)
お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

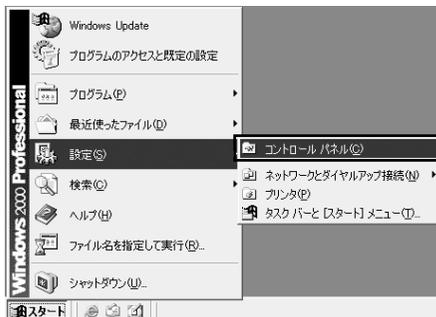
インターネットプロパティの設定

これまで通常のもデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。

これまでADSL接続かBフレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」(●P3-27)に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 2000を起動し、「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



2 「インターネットのプロパティ」を表示する。

コントロールパネルから「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。



お知らせ

- Internet Explorer6.0 (SP1) がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は [キャンセル] をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

(次ページへ続きます)

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ

5 リモートマネジメントを利用する

6 ご参考に

3 [接続] タブで [ダイヤルしない] を選択する。

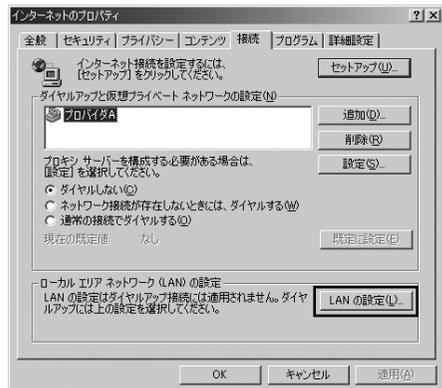
「インターネットのプロパティ」の [接続] タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で [ダイヤルしない] が選択されていることを確認してください。

[ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする] や [通常の接続でダイヤルする] が選択されている場合は、[ダイヤルしない] をクリックします。



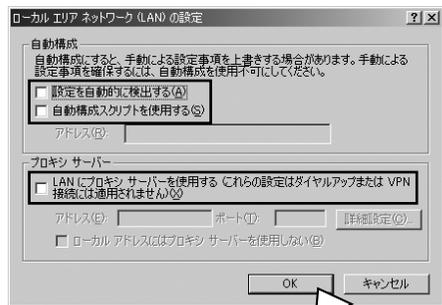
4 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の [LANの設定] をクリックする。



5 ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定をする。

次のように設定します。

- ①「自動構成」のチェックを外す
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。
- ②「プロキシサーバー」のチェックを外す
「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、[OK] をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

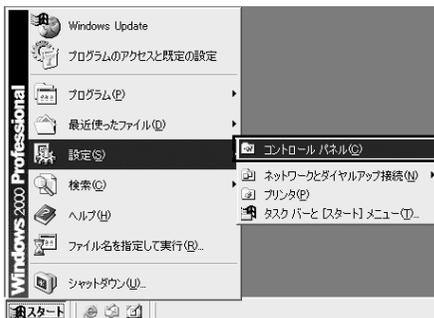
- ③最後に「インターネットのプロパティ」の [OK] をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 2000を起動して「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



3 「ローカルエリア接続」を表示する。

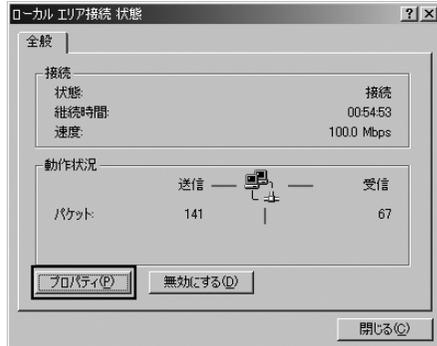
「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。



(次ページへ続きます)

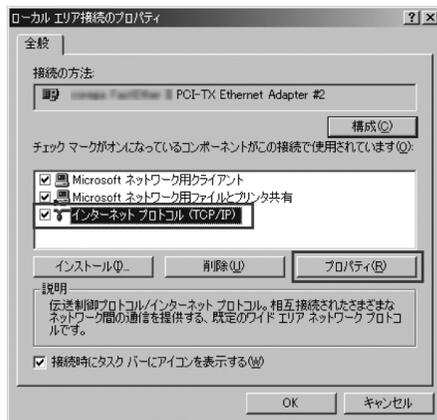
4 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続状態」の「プロパティ」をクリックします。



5 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

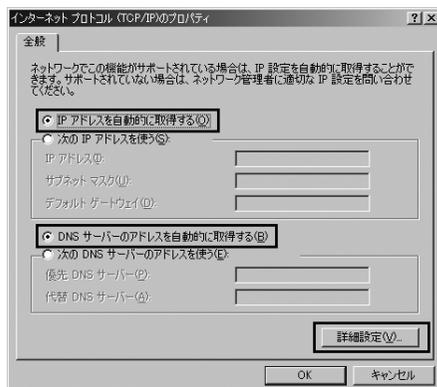


※一覧に表示されているチェックは外さないください。

6 IPアドレスとDNSを設定する。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



7 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。

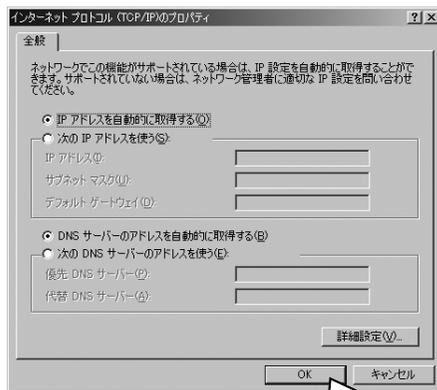
「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP有効」となっていない場合、手順6の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度チェックをしてください。

8 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の [OK] をクリックする。



9 「ローカルエリア接続のプロパティ」の [OK] をクリックする。

10 「ローカルエリア接続状態」の [閉じる] をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows® 2000ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する。

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択し、「コマンドプロンプト」をクリックします。



コマンドプロンプトが表示されます。

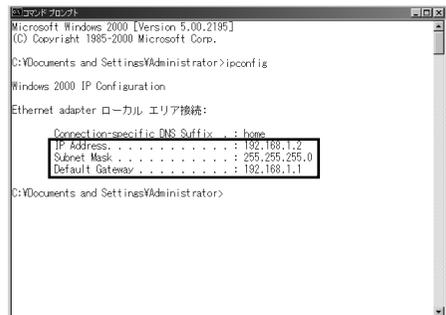
2 ipconfigコマンドを実行する。

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英字で「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。ipconfigコマンドを実行すると、接続している各ネットワークアダプタについて、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報が表示されます。

ローカルエリア接続の以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- ・ IP Address
- ・ Subnet Mask
- ・ Default Gateway

これらの情報はすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正しく設定されていない場合は、半角英字で「ipconfig /renew」と入力し、Enterキーを押してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gatewayの各情報が再度表示されます。
- 「ipconfig /renew」を実行しても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順1からやり直してください。

Webブラウザの設定

本商品は、各種の設定をWebブラウザで実施します。Windows® 7ではInternet Explorer8.0、Windows Vista® (SP2) ではInternet Explorer7.0、または、Internet Explorer8.0、Windows® XP Home/Professional (SP3) ではInternet Explorer6.0 (SP3)、Internet Explorer7.0、または、Internet Explorer8.0、Windows® 2000 (SP4) ではInternet Explorer6.0 (SP1) がインストールされていることを確認してください。画面はWindows® 7 の例です。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

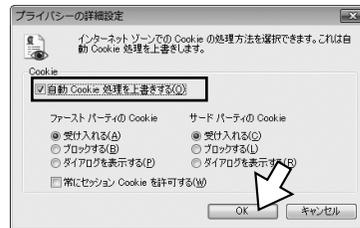
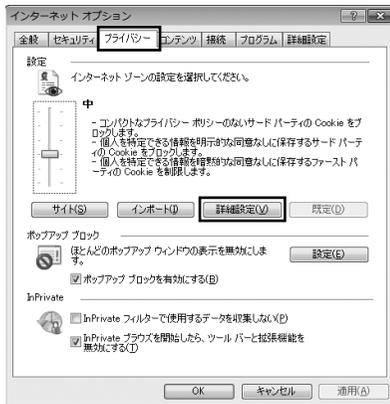
4 バージョンアップ

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

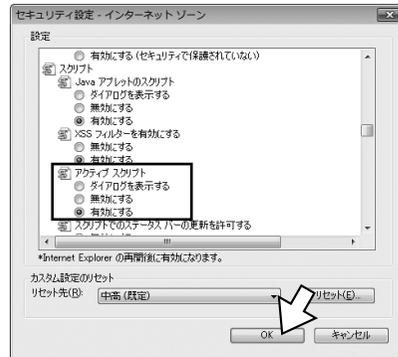
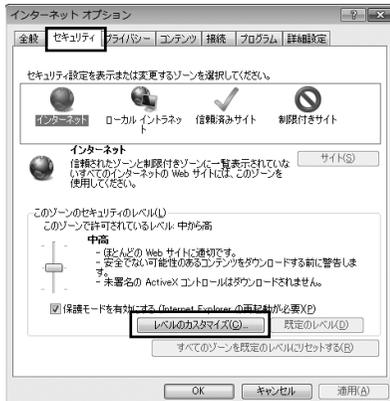
< Cookie の設定 >

- ①Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
- ②「プライバシー」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックして、「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックがついていることを確認し、[OK] をクリックする。



< Javascript の設定 >

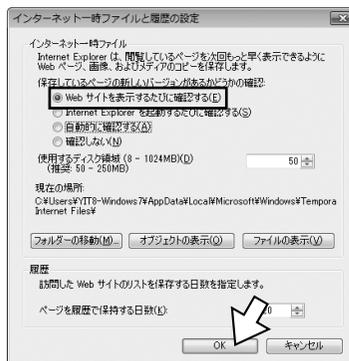
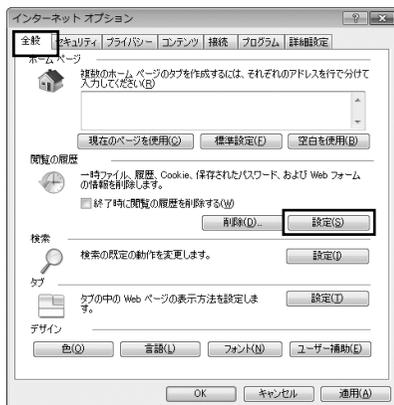
- ①「セキュリティ」タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックする。
- ②スクリプト項目のアクティブスクリプトが「有効にする」に設定されていることを確認し、[OK] をクリックする。



(次ページへ続きます)

<キャッシュ機能の設定>

- ①「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」の「設定」をクリックする。
- ②「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていることを確認し、「OK」をクリックする。



お知らせ

- Webブラウザは、ホームページを見るためのソフトウェアです。代表的なブラウザとして、Microsoft® Internet Explorerがあります。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ダイアログを終了してください。
- ブラウザの「戻る」、[進む] は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じてWebブラウザの設定を変更前の設定に戻してください。

本商品の設定を行うには

本商品に接続したパソコンのWebブラウザで各種設定を行うことができます。画面はWindows® 7 の例です。

1 本商品に接続したパソコンでWebブラウザを起動する。

2 Webブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.1/user」と入力し、「Enter」キーを押す。

本商品のIPアドレスの初期値は「192.168.1.1」です。



3 パスワードを入力し、[OK] をクリックする。

パスワードの初期値は「user」です。
 入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。
 パスワードは変更することができます。(P3-36)
 「ユーザー名」は空欄のままにしてください。
 「資格情報を記憶する」をチェックしても、入力したパスワードは記憶されません。
 次回もパスワードを入力してください。



4 設定のトップ画面が表示されます。

左側のメニューから項目をクリックして、各設定画面へ移動することができます。
 設定を変更した場合は、[設定保存] をクリックしてください。



お知らせ

- 「ユーザー名」は空欄のみです。変更はできません。
- 「設定保存」をクリックする前に再起動をしたり、停電があった場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ

5 リモートマネジメントを利用する

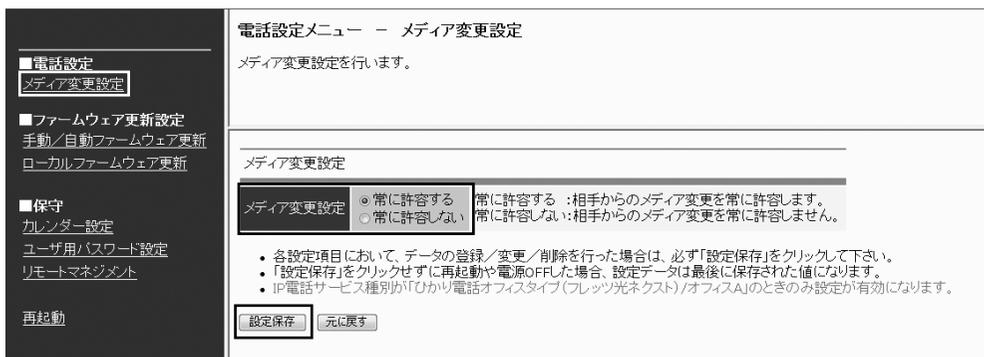
6 ご参考に

メディア変更設定を変更する

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら画像ファイルなど様々な形式のデータを送受信できるようになっています。(端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります)

このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データの送受信を開始する処理のことを「メディア変更」と呼びます。

通話相手からのメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・拒否するかを「メディア変更設定」で設定することができます。



1 [電話設定] の [メディア変更設定] をクリックする。

2 [メディア変更設定] を設定する。

メディア変更設定を選択します。

【常に許容する】に設定した場合、自分が発信者／着信者いずれでも、通話中に相手からのメディア変更を受け付けます。

【常に許容しない】に設定した場合、自分が発信者／着信者いずれでも、通話中に相手からのメディア変更を拒否します。

3 [設定保存] をクリックする。

お知らせ

- 通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。
- メディア変更設定は、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィスA（エース）使用時のみ、設定が有効になります。
- メディア変更設定を変更した場合、新しい通話から設定が有効になります。
- チャンネルの内部に複数接続可能なデータ通信数（メディアストリーム）は、全IP端末で同時に5つまでとなります。

日付と時刻を設定する

本商品の日付と時刻を設定します。

設定した日付と時刻は、自動ファームウェア更新の更新日時と通信ログの表示に使用されます。

保守メニュー - カレンダー設定

本装置時刻の設定を行います。

カレンダー設定

現在日時: 2010年 07月 01日 00:00

時刻自動取得: する しぬい

西暦設定範囲: 2000~2099
現在の日時を半角数字で入力して下さい。
3日以上電源断が続いた場合、カレンダー情報が初期値に戻りますので再度設定して下さい。

・各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」をクリックして下さい。
・「設定保存」をクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。

設定保存 元に戻す

1 [保守] の [カレンダー設定] をクリックする。

2 年月日と時刻を入力する。

3 [時刻自動取得] を設定する。

ひかり電話オフィスタイプ (フレッツ 光ネクスト) またはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合、本設定を行うことができます。他のIP電話サービスをご利用の場合、時刻自動取得は表示されません。

4 [設定保存] をクリックする。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ

5 リモートマネジメントを利用する

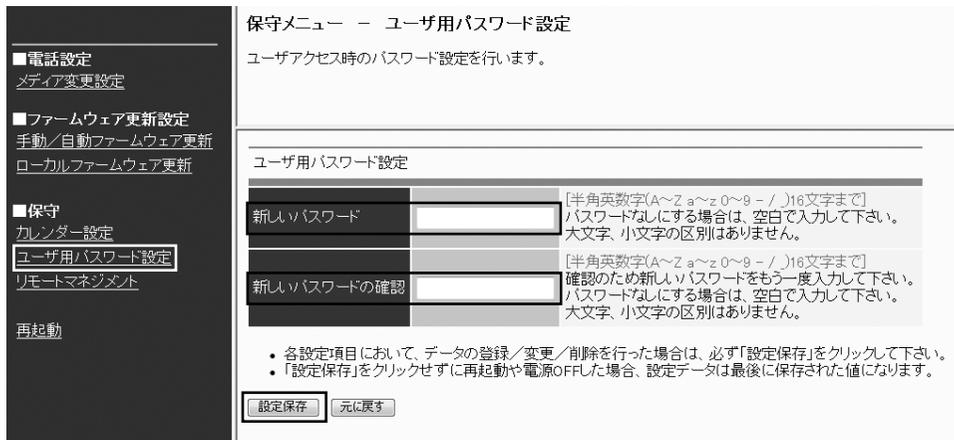
6 ご参考に

お知らせ

- 時刻はあくまでも目安としてご利用ください。誤差が生じたときは、時刻を合わせ直してください。日付と時刻設定を正しく行っていない場合、自動ファームウェア更新のため予期せぬタイミングで再起動する場合があります。
- 時刻自動取得設定が「する」に設定され、さらにネットワーク時刻同期サービスが提供されている場合、本商品の時刻は自動的に取得した時刻に変更されます。
- 再起動待機中の日付と時刻の設定は反映されません。再起動完了後、設定を行ってください。

パスワードを変更する

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。



1 [保守] の [ユーザーパスワード設定] をクリックする。

2 パスワードを入力する。
入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

3 もう一度同じパスワードを入力する。
入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

4 [設定保存] をクリックする。

お知らせ

- 「ユーザー名」は空欄のみです。変更はできません。
- パスワードを変更した後、続けて設定・保守を行うと認証画面が表示されます。
認証画面にて変更した新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

再起動する

本商品を再起動します。

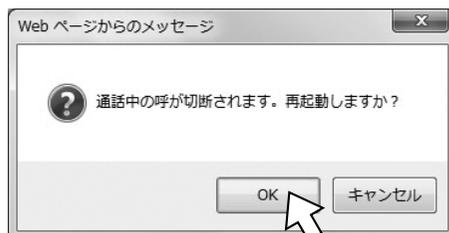


1 [保守] の [再起動] をクリックする。

2 「再起動を行います。よろしいですか?」と表示されたら [OK] をクリックする。

3 [OK] をクリックする。

本商品が再起動します。



STOP お願い

- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順 2、3 で [キャンセル] をクリックします。

お知らせ

- 各種設定で [設定保存] をクリックする前に再起動をした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。本商品のLANポート下部でIP端末をご利用の時は、本商品の再起動完了後、IP端末を登録し直す必要があります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ
する

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

4 バージョンアップする

本商品のファームウェアを 更新するには……………	4-2
自動ファームウェア更新の 設定をする……………	4-3
Webブラウザから手動で更新する ……	4-5
ローカルでファームウェアを更新する…	4-6
電話機から手動で確認／更新（再起動） する……………	4-7

本商品のファームウェアを更新するには

本商品は定期的にサーバにアクセスし、最新のファームウェアのアップデートを実施します。

自動ファームウェア更新の有効、無効、自動更新時刻などを「自動ファームウェア更新の設定をする」(●P4-3)で設定できます。

自動ファームウェア更新の設定をする

自動ファームウェア更新を実施するかどうかを設定します。自動ファームウェア更新を無効にした場合は、更新チェックは自動で行われますが、ファームウェアのダウンロードは行われません。

ファームウェア更新設定メニュー - 手動/自動ファームウェア更新

ファームウェア更新に関する設定を行います。

手動ファームウェア更新

手動ファームウェア更新 「手動更新」をクリックすると、ファームウェアの更新チェックを行い、最新のファームウェアがある場合はダウンロードを開始します。

自動ファームウェア更新詳細設定

自動ファームウェア更新	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
現在時刻	2010年07月01日 00:00	日時を設定するには「保守メニュー」カレンダー設定にて実施して下さい。
自動更新時刻	03時	設定範囲:00~23 自動更新を実施する時刻を半角数字で入力して下さい。 最新のファームウェアがある場合、設定時刻から1時間以内に更新されます。
自動ファームウェア更新開始日	<input checked="" type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 指定日 年 月 日	西暦設定範囲:2000~2099 自動ファームウェア更新を開始する日付を半角数字で入力して下さい。
バージョンアップお知らせ用URL	http://www.cpsinfo.jp/	
現在のファームウェアバージョン	Ver 5.1.0.0	

- 特に重要なファームウェアについては、お客様の設定に関わらず、「自動更新時刻」に設定された時刻にファームウェア更新が行われます。
- 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」をクリックして下さい。
- 「設定保存」をクリックせずに再起動や電源OFFした場合は、設定データは最後に保存された値になります。

1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには」(P3-33)の手順1~3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ファームウェア更新設定] の [手動/自動ファームウェア更新] をクリックする。

3 各項目を設定する。

- 自動ファームウェア更新詳細設定

[自動ファームウェア更新] :

有効か無効かを選択します。

[現在時刻] :

現在の年月日と時刻が表示されます。

[自動更新時刻] :

自動更新を実施する時刻を入力します。新しいファームウェアがある場合、設定した時刻から1時間以内に新しいファームウェアをダウンロードし、自動的に再起動します。初期値は、午前3時です。

[自動ファームウェア更新開始日] :

自動ファームウェア更新を開始する日付を入力します。

「毎日」に設定した場合、「自動更新時刻」の設定に従い、ファームウェアのダウンロードを行います。

「指定日」に設定した場合、設定した日付になるまで新しいファームウェアのダウンロードを行いません。

設定した日付以降は「毎日」に設定したときと同じ動作をします。

[バージョンアップお知らせ用URL] :

インターネット上のバージョンアップサーバのURLが表示されます。

*ひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話オフィスA(エース)をご利用の場合は表示されません。

[現在のファームウェアバージョン] :

現在のファームウェアバージョンが表示されます。

4 [設定保存] をクリックする。

お願い

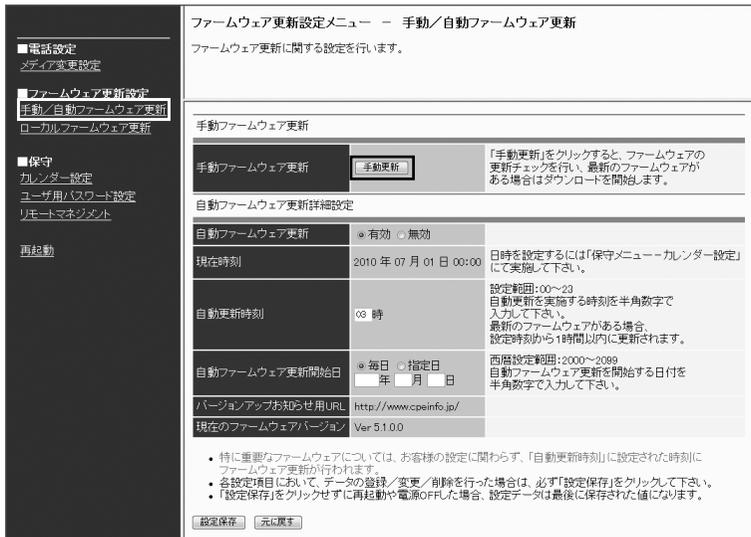
- ファームウェア更新中および再起動が完了するまでの間は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

お知らせ

- ひかり電話ビジネスタイプをご利用の場合、ファームウェア更新を使用するために、本商品にPPPoE接続の設定を行う必要があります。設定は工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください。
- [自動ファームウェア更新]を「有効」(お買い求め時の設定)に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動します。
ただし、重要なファームウェアについては、[自動ファームウェア更新]や[自動ファームウェア更新開始日]の設定に関わらず、[自動更新時刻]に設定した時刻から1時間以内にファームウェアの更新が行われます。
更新完了時に通話中の場合は、通話が終わったあと約6分後に再起動します。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。本商品のLANポート下部でIP端末をご利用の時は、本商品の再起動完了後、IP端末を登録し直す必要があります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断される場合があります。

Webブラウザから手動で更新する

Webブラウザの設定画面から手動でファームウェアを更新することができます。



1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには」(P3-33)の手順1~3を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 [ファームウェア更新設定] の [手動/自動ファームウェア更新] をクリックする。

3 [手動ファームウェア更新] の [手動更新] をクリックする。

4 「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行って下さい。」と表示されたら [再起動] をクリックする。

最新のファームウェアがない場合は「確認が終了しました。新しい更新はありません。」と表示されます。再起動の必要はありません。

5 「再起動を行います。よろしいですか？」と表示されたら [OK] をクリックする。

6 「通話中の呼が切断されます。再起動しますか？」と表示されたら [OK] をクリックする。

本商品が再起動します。



お願い

- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。



お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。本商品のLANポート下部でIP端末をご利用の時は、本商品の再起動完了後、IP端末を登録し直す必要があります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。



ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順5、6で [キャンセル] をクリックします。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービスを利用する

3 本商品の設定

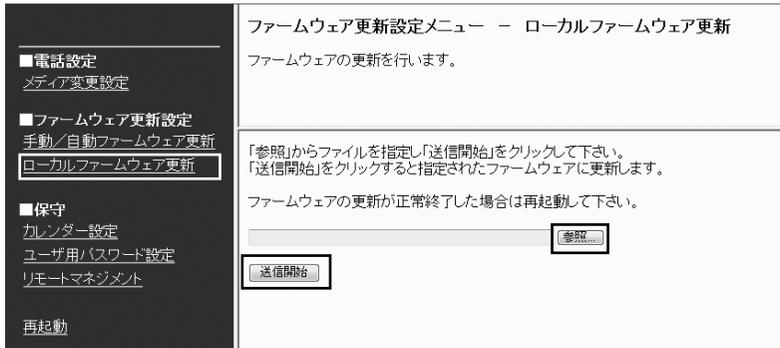
4 バージョンアップ

5 リモートマネジメントを利用する

6 ご参考に

ローカルでファームウェアを更新する

パソコン上のファームウェアを使用して、Webブラウザの設定画面からファームウェアを更新することができます。



- 1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。
「本商品の設定を行うには」(●P3-33)の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。
- 2 [ファームウェア更新設定] の [ローカルファームウェア更新] をクリックする。
- 3 [参照] をクリックし、パソコン上のファームウェアを選択する。
- 4 [送信開始] をクリックする。
- 5 「ファームウェア更新を行います。よろしいですか?」と表示されたら [OK] をクリックする。
- 6 「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行って下さい。」と表示されたら [再起動] をクリックする
- 7 「再起動を行います。よろしいですか?」と表示されたら [OK] をクリックする。
- 8 「通話中の呼が切断されます。再起動しますか?」と表示されたら [OK] をクリックする。
本商品が再起動します。

STOP お問い合わせ

- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
- 古いバージョンへのファームウェア更新は行わないでください。

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。
本商品のLANポート下部でIP端末をご利用の時は、本商品の再起動完了後、IP端末を登録し直す必要があります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順 7、8 で [キャンセル] をクリックします。

ビジネスホンからの操作により、手動で最新ファームウェアの有無の確認や更新（再起動）をすることができます。

ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

最新ファームウェアの確認

1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。

3 ダイヤルボタンで00010と押す。

最新のファームウェアがある場合は、「新しいファームウェアへのバージョンアップが可能です。0を3回、1を2回、ダイヤルしてください。」という音声ガイダンスがハンドセットから聞こえます。

最新のファームウェアがない場合は、「新しいファームウェアへのバージョンアップ情報はありません。」という音声ガイダンスがハンドセットから聞こえます。

4 ハンドセット（受話器）を置く。

新しいファームウェアがある場合は、続けて以下の「最新ファームウェアの更新（再起動）」の操作を行ってください。

最新ファームウェアの更新（再起動）

1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。

3 ダイヤルボタンで00011と押す。

最新のファームウェアがある場合は「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、ファームウェアの更新を行います。

最新のファームウェアがない場合は「ピピッピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえます。

4 ハンドセット（受話器）を置く。

約6分後に再起動します。

ハンドセット（受話器）を置いたときに、ほかの電話機が通話中の場合は、通話が終わったあと約6分後に再起動します。

STOP お問い合わせ

- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

お知らせ

- 最新ファームウェアの確認／更新（再起動）は、ビジネスホンの外線捕捉の状態（「ツー」という発信音が聞こえる）で行ってください。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動完了するまでIP電話サービスはご利用になれません。本商品のLANポート下部でIP端末をご利用の時は、本商品の再起動完了後、IP端末を登録し直す必要があります。IP端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ
する

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

5 リモートマネジメントを利用する

リモートマネジメントを利用するには…	5-2
Webブラウザから接続する ……………	5-3
電話機から接続する……………	5-4

リモートマネジメントを利用するには

リモートマネジメントを契約している場合、センターから遠隔で本商品の設定等を行うことができます。

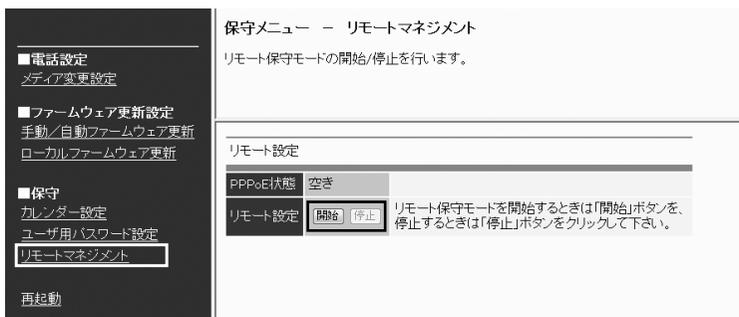
リモートマネジメントには、「Webブラウザから接続する」(P5-3)、または、「電話機から接続する」(P5-4)で接続できます。

STOP お願い

- リモートマネジメントを利用するためには、本商品に設定を行う必要があります。設定は工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください。
- リモートマネジメントを利用するためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。
- リモートマネジメントサービスは、2010年7月現在、NTT西日本において未提供です。
- リモートマネジメントサービスのご利用時は、工事担当者の指示に従ってください。

Webブラウザから接続する

Webブラウザの設定画面からリモートマネジメントに接続することができます。



サービスを開始する場合

- 1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。
「本商品の設定を行うには」(●P3-33)の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。
- 2 [保守] の [リモートマネジメント] をクリックする。
- 3 [リモート設定] の [開始] をクリックする。
- 4 「リモート保守モードを開始します。よろしいですか？」と表示されたら [OK] をクリックする。
「リモート保守モードを開始しました。」と表示され、リモートマネジメントサービスが開始されます。サービス開始後は、工事担当者の指示に従った操作を実施してください。
リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、「リモート保守モードの開始を失敗しました。」と表示されます。

サービスを停止する場合

- 1 Webブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。
「本商品の設定を行うには」(●P3-33)の手順1～3を行い、設定のトップ画面を開きます。
- 2 [保守] の [リモートマネジメント] をクリックする。
- 3 [リモート設定] の [停止] をクリックする。
- 4 「リモート保守モードを停止します。よろしいですか？」と表示されたら [OK] をクリックする。
「リモート保守モードを停止しました。」と表示され、リモートマネジメントサービスが停止されます。



お願い

- リモートマネジメントサービスご利用時は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。



お知らせ

- リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、当社のサービス取扱所にお問合せください。

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ

5 リモートマネジメント
を利用する

6 ご参考に

電話機から接続する

ビジネスホンからの操作により、リモートマネジメントに接続することができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

サービスを開始する場合

- 1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
- 2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。
- 3 ダイヤルボタンで00020と押す。
「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、リモートマネジメントサービスが開始されます。サービス開始後は、工事担当者の指示に従った操作を実施してください。
リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、「ツー・ツー」という話中音がハンドセットから聞こえます。
- 4 ハンドセット（受話器）を置く。

サービスを停止する場合

- 1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
- 2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。
- 3 ダイヤルボタンで00021と押す。
「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、リモートマネジメントサービスが停止されます。
- 4 ハンドセット（受話器）を置く。

お願い

- リモートマネジメントサービスご利用時は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

お知らせ

- リモートマネジメントサービスの開始に失敗した場合は、当社のサービス取扱所にお問合せください。

故障かな?と思ったら.....	6-2
ユーザ設定記入シート.....	6-3
索引.....	6-4
仕様.....	6-5
保守サービスのご案内.....	6-6

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
POWERランプが点灯しない。	電源アダプタが正しく接続されていない。	電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。	▶P1-13
電話がかけれない。 電話がかかってこない。			
設定画面を開けない。	パソコンが正常に設定されていない。	パソコンの設定を確認してください。それでも復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。	▶P3-4～ 3-32
ALARM ランプが点灯または点滅している。	本商品が正常に動作していない。	電源を入れ直してください。	—
勝手に再起動する。	自動ファームウェア更新を「有効」に設定している場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動する。 また、日付と時刻設定を正しく行っていない場合、予期せぬタイミングで再起動する場合があります。	故障ではありません。	▶P4-3
G4 ファクスで送信しても G3 ファクスになってしまう (VG430i / 830i の場合)。	本商品は G4 ファクスに対応していない。	故障ではありません。 本商品は G4 ファクスに対応していませんので、G3 ファクスをご利用ください。	—

アルファベット

- ALARMランプ 1-5,1-6,1-7,6-2
- CLKポート 1-7,1-9,6-5
- CLKランプ 1-6,1-7
- CONFIGランプ 1-5,1-6,1-7
- FG端子 1-8,1-9,1-13,1-14
- INITランプ 1-5,1-6,1-7
- IPアドレス 3-8,3-15,3-22,3-28,3-33
- IP電話サービス
 - 利用する 2-1
- LANケーブル 1-4,1-13,1-14
- LANポート
 - … 1-2,1-3,1-7,1-8,1-9,1-13,1-14,2-5,3-3
- LANランプ 1-5,1-6,1-7
- LINEポート 1-2,1-8,1-9,1-13,1-14
- POWERランプ 1-5,1-6,1-7,2-6,2
- PPPランプ 1-5,1-6,1-7
- VoIPランプ 1-5,1-6,1-7,2-2
- WANポート 1-2,1-8,1-9,1-13,1-14
- WANランプ 1-5,1-6,1-7
- Webブラウザ 3-31
- Windows® 2000
 - インターネットプロパティの設定 3-25
 - ネットワークの設定 3-27
 - ネットワークの設定を確認する 3-30
- Windows® 7
 - インターネットプロパティの設定 3-4
 - ネットワークの設定 3-6
 - ネットワークの設定を確認する 3-10
- Windows Vista®
 - インターネットプロパティの設定 3-11
 - ネットワークの設定 3-13
 - ネットワークの設定を確認する 3-17
- Windows® XP
 - インターネットプロパティの設定 3-18
 - ネットワークの設定 3-20
 - ネットワークの設定を確認する 3-24

五十音**カ行**

- 壁掛け
 - 壁掛け用品 1-4,1-11,1-12
 - 壁に取り付ける 1-11
 - 電源アダプタを壁に取り付ける 1-12
- クイックコネクタ 1-4,6-5
- 故障かな?と思ったら 6-2

サ行

- 再起動 3-37,4-6
- 仕様 6-5
- 初期化スイッチ 1-8,1-9
- 接続 1-13,1-14
- 設置
 - 設定
 - Webブラウザの設定 3-31
 - お客様で登録、変更可能な設定 3-2
 - 設定の流れ 3-3
 - パソコンの設定 (Windows® 2000) 3-25
 - パソコンの設定 (Windows® 7) 3-4
 - パソコンの設定 (Windows Vista®) 3-11
 - パソコンの設定 (Windows® XP) 3-18
 - 本商品の設定 3-2,3-33
- 専用スタンド 1-4
 - スタンドを取り付ける 1-10

タ行

- 着信 2-3
- 電源アダプタ 1-4
 - 電源アダプタを壁に取り付ける 1-12
- 電源アダプタコード固定用溝 1-8,1-9,1-13,1-14
- 電源アダプタコード端子 1-8,1-9,1-13,1-14
- 電話を受ける 2-3
- 電話をかける 2-2
- 同時に複数の通話および複数の電話番号を利用する 2-4

ナ行

- ナンバー・ディスプレイ 2-6

ハ行

- パスワード 3-33,3-36,6-3
- 発信 2-2
- 日付と時刻 3-35
- ファームウェア
 - Webブラウザから手動で更新する 4-5
 - 自動ファームウェア更新の設定をする 4-3
 - 電話機から手動で確認/更新(再起動)する 4-7
 - ローカルでファームウェアを更新する 4-6
- 保守サービスのご案内 6-6

マ行

- メディア変更
 - メディア変更設定を変更する 3-34

ヤ行

- ユーザ設定記入シート 6-3

ラ行

- ランプ表示 1-5,1-6
- リモートマネジメント 5-2,5-3,5-4

項 目		仕 様
WAN側インタフェース	規格	IEEE802.3(10BASE-T),IEEE802.3u(100BASE-TX), IEEE802.3ab(1000BASE-T) 自動認識
	ポート数	1ポート
	接続コネクタ	RJ45 (8ピン モジュラジャック)
	最大伝送距離	100 m
LAN側インタフェース	規格	IEEE802.3(10BASE-T),IEEE802.3u(100BASE-TX), IEEE802.3ab(1000BASE-T) 自動認識
	ポート数	1ポート
	接続コネクタ	RJ45 (8ピン モジュラジャック)
	最大伝送距離	100 m
アナログポート (VG430a / 830aのみ)	ポート数	VG430a: 4ポート VG830a: 8ポート
	接続コネクタ	232D (2ピン クイックコネクタ)
	選択信号	PB/DP (10 pps/20 pps)
	最大通話数	VG430a: 4通話 VG830a: 8通話
	接続距離	最大200 m ただし、アナログ通信機器の直流抵抗は50 Ω以上、300 Ω以下であること
BRIポート (VG430i / 830iのみ)	ポート数	VG430i: 2ポート VG830i: 4ポート
	接続コネクタ	232D (4ピン クイックコネクタ)
	プロトコル	JT-I.430準拠P-MP接続、P-P接続 (レイヤ1常時起動、給電能力なし) JT-Q.921、JT-Q.931 (回線交換のみ) : JT-Q.932は未対応
	最大通話数	VG430i: 4通話 VG830i: 8通話
	接続距離	最大 200 m
	P-MP接続台数	1台
CLKポート (VG430i / 830iのみ)	ポート数	1ポート
	接続コネクタ	232D (4ピン クイックコネクタ)
	プロトコル	JT-I.430準拠
VoIP	呼制御	SIP
	最大通話数	4ch構成時4通話/8ch構成時8通話
	音声符号化則	JT-G.711(μLaw)
	DTMF	みなし音声 (透過)
	エコーキャンセラ	JT-G.168(64mS)
	音声レベル	3dBステップ(8段階)
使用電源	AC100 V ± 10 V (50/60 Hz) (専用電源アダプタ使用)	
消費電力	最大48 W	
外形寸法	本体	約235 mm (W) ×約170 mm (D) ×約58 mm (H)
	縦置き時 (専用スタンド使用)	約100 mm (W) ×約170 mm (D) ×約245 mm (H)
質量 (本体)	約0.6 kg	
使用条件	温度: 5 °C ~ 40 °C 湿度: 45 % ~ 85 % (結露しないこと)	

1 お使いになる前に

2 IP電話サービス
を利用する

3 本商品の設定

4 バージョンアップ
する5 リモートメンテナンス
を利用する

6 ご参考に

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



環境を考えて大豆インクを使用しています

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：

[NTT 東日本] <http://web116.jp/ced/>

[NTT 西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

● 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-710444** (9:00 ~ 21:00)

携帯電話・PHS・050IP 電話からご利用の場合

03-5667-7200 (通話料金がかかります)

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

● 故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-242751** (24時間 年中無休※)

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

● 本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-248995**

(携帯電話・PHSからもご利用可能です。)

□ 受付時間

・本商品のお取扱いに関するお問合わせ：

9:00～17:00 (年末年始12月29日～1月3日を除く)

・故障に関するお問合わせ：24時間 (年中無休) ※

※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2010 NTTEAST・NTTWEST

本 2951-6 (2010.7)

VG430/830 ゲートウェイトリセツ <1>

4374060000|H07

